大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 康德六年(昭和十四年)四月九日 (日曜日) 第五千八百三十二號 (一)

新京日日新聞 朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

産業開發第二年度は 豫定成績を突破

驚異的躍進の各部門

世界驚異の的となつてゐる滿洲國産業開發の實績、計畫を全面的に報告協議する産業開發五ヶ年計畫の第二年度實績報告並に第三年度實施計畫協議會は八日午後一時より夕刊既報の如く日滿軍人會館で開催され、岸次長より第二年度一般概況報告の後、關係諸會社の擔當事項報告、本年度實施方策の大綱を星野長官が説明、軍司令官の挨拶、計畫一般の質疑應答を行ひ午後五時半閉會したが、すさまじいスピードをもつて進行してゐる滿洲産業各部門の開發全貌は左の如く發表された【寫眞は會場】

◇鑛工業部門
A、鐵鋼、オイルシエール、特に銑鐵、鋼塊、鋼片は所定目標に對し百%に近く、鋼材は百八%、オイルシエールは百%平均、電力は火力九十四%の好成績
B、石炭、金の産出は時局の影響を受け資材不足であつたにも拘らず石炭は八十七%、金は六十一%に達してゐる
C、設備建設の進捗狀況は資材不足のため一般に多少の遲延をみたゞけで、鞍山の熔鑛爐建設、鴨綠江、松花江、鏡泊湖の發電建設は百%に進捗してゐる

◇農業部門
A、平年作に比し北滿、東滿は稍々下り、作付面積は豫定より增加
B、高梁、包米、蓖麻は豫定より好成績を收む
C、大豆は應急增産計畫の實施に依り豫定の實績を上ぐ
D、小麥、ケナフ、棉花は種苗の災害に依り稍々不作

◇畜産部門
A、緬羊は九十八%の好成績内改良雜種百七%、羊毛は九十八%、在來種百十一%といづれも計畫を突破
B、馬匹は增殖の結果八十三%近く、改良種は百六%
C、牛は在來種九十八%、改良種百%、輸入は百十%を擧ぐ
D、豚は豫定通りの成績

◇開拓部門
集團、集合開拓民は八十%義勇隊奉公隊も同樣の實績を擧ぐ

◇交通部門
A、鐵道は公設八十%、私設は七十%の成績
B、道路は國防線、治産線は共に二百二十五%の躍進をとげた
C、電々關係は八十%を確保した

◇資金部門
事變下にも拘らず豫想以上に良好にして農畜産、開拓部門では百五十%、交通通信部門は百三%、鑛工業九十五%、國有鐵道は百六十五%、平均百二十%の好成績を收めた

第三年度開發大綱

修正滿洲國産業五ヶ年計畫二年度の開發實績は八日軍人會館における報告會終了後その全貌を發表され、滿洲國では今後産業開發、開拓、國境建設を三大國策としてとりあげ全力をつくしてこれが可及的速やかなる完成に邁進することゝなつたが、左の如き大綱に基き得たる物資の配分工夫にも努力することゝなつた

一、三年度は産業開發、開拓國境建設に主力を集中する
一、協豪調整を眼目とする
一、增産は必要であるが、得たる資源の配分に重點を置く
一、かくの如く苦心して得たる物資は出來るだけ工夫節約して使用する

伊太利の次の動き 希臘コルフ島占領か

【ローマ七日發國通】ローマ外交界ではアルバニア占領に引續くイタリーの次の動きはギリシヤ領コルフ島の占領であらうと次の如き觀測を下してゐる

イタリーの今回のアルバニア出兵の主要目的がユーゴー及びギリシヤの國境に兵を進めて右兩國を英佛の企圖する獨伊包圍陣營に參加せしめぬことにある以上アルバニア出兵に引續いてイタリーの採るべき手段はアドリア海の咽喉を扼しギリシヤ、アルバニア國境に近いギリシヤ領コルフ島の占領であらうと豫測される

伊豫備將校召集

【ローマ七日發國通】イタリー陸軍省は除隊または豫備役にある歩兵、騎兵、砲兵、工兵各兵科に屬する全將校に對し召集狀を發した旨七日發表した、右召集期間は五月一日より半月乃至一ヶ月で一九三六年以役の召集に應じた者及び學生、青少年團員等は除外されてゐる

首都チラノ占領

【ローマ八日發國通】イタリー政府は八日午前十時十分アルバニアの首都チラノの占領を次の如く發表した
イタリー軍は八日午前九時卅分アルバニアの首都チラノに入城これを占領した

和蘭兵旅行禁止

【ヘーグ七日發國通】イタリーの拔打的アルバニア進駐により歐洲政情は俄かに緊迫して來つたので、オランダ政府でもこの逆睹し難き情勢に鑑み現役兵の復活祭旅行許可を取消し在鄕軍人に對しても旅行は禁止し、何時でも召集に應じ得るやう待機命令を發した
一方コリーン首相並にヴァンディーク國防相等はベルギーへの休暇旅行を取止める等朝野をあげての緊張を示してゐる

海岸線より十哩 伊軍更に奥地進入

【チラナ七日發國通】アルバニア政府筋ではイタリー軍のアルバニア進出はアルバニア軍の反擊により遲々として進捗しないと稱してゐたが、七日夜に至り遂にイタリー軍はドラッツオ、サン・チクワランタ、サン・ジヨバンニ、デイ・メドア等の諸港を收め海岸より十哩の奥地まで進入した旨を認めた、しかし右諸港の陷落に際してはイタリー、アルバニア兩軍の間に激戰が行はれ現在アルバニア軍は奥地に於て抵抗を續けてゐるといつてゐる、またレッシブレッツア、シングジン等の戰略上の要地でも壯烈な攻防戰が展開されこれ等諸都市は空襲のため廢墟に歸したと傳へられてゐる、なほアルバニア政府は七日ゲラ經濟相を通じてイタリー政府へ提出されたツオグ一世の和平解決案に對するローマからの回答を鶴首して待つてゐる、消息通によれば、右解決案の内容はアルバニアの獨立及びツオグ一世の退位を强要しないことを條件にアルバニアの降伏を提議したものといはれてゐる

今後の問題 英佛の出方如何

【ローマ七日發國通】ローマ外交界の一部ではイタリー今回のアルバニア進擊は當然の行動となし、今後の問題は英佛の出方如何にかゝつてゐる旨左の如き見解を下してゐる

□アルバニアは從前よりイタリーの勢力圏内で同國がイタリーに對して楯つく限りこれを膺懲し平和策を講ずるのはイタリーとしても當然の措置である、英佛兩國は一應の抗議をするだらうがアルバニアに關する限り英佛兩國には實質的發言權はないのである、兩國が更にバルカン方面に策動を續ければ獨伊は沈默する能はず、更に問題が各方面に擴大するだらう、何れにしてもこれは今後英佛兩國の出方如何にかゝつてゐる

バルカン協商國 對伊共同政策に腐心

【ブカレスト七日發國通】イタリーのアドリア海制覇はバルカン諸國に多大の反響を喚起してゐるが、ルーマニア、ユーゴースラヴイア、ギリシヤ並にトルコ四國からなるバルカン協商諸國はアルバニア問題の發生以來終始緊密な連絡を保つて對イタリー共同政策の樹立に腐心してゐる模樣である、バルカン協商諸國が如何なる決定に到達したかは明かでないが、ルーマニア外相ガフエンコ氏は七日夜ブカレストを出發、トルコ訪問の途につく豫定で、アンカラにおいてトルコ政府首腦との間にアルバニア問題に對する共同對策につき具體的協議を遂げる筈である

諸國誘引に 英、積極工作

【ロンドン七日發國通】對獨包圍陣の結成に活潑な工作を續けてゐた英國政府はドイツの中歐進出に續くイタリーのアドリア海制覇に多大の衝擊を受けバルカン諸國の併合に躍起となつてゐる模樣である、すなはち七日午後ハリフアックス外相は外務省にイタリー代理大使グロラ氏の來訪を求めアルバニア進駐に對しイタリー側の説明を聽取した後ギリシヤ公使レモボウロス、ユーゴースラヴイア公使カレドラッツ、ブルガリア公使モムチロフの諸氏と相次いで意見を交換した

同時にカドガン外務次官もルーマニア公使チレア、フランス大使コルバン、トルコ大使バイフエチ・オクヤールの諸氏と會見同樣意見を交換する等東部地中海の危機が切迫するにつれて英國政府のバルカン諸國誘引工作は漸次積極的となりロンドン外交界は極度の緊張を示してゐる、消息通によれば、英國政府は情勢の發展如何によつてはスコットランドに休暇靜養中のチエムバレン首相をロンドンに呼び戻し更に七日より復活祭休暇に入つた議會を臨時開會して對策を協議する手筈を整へてゐるといはれる

蔣の四月十日攻擊 我嚴戒で水泡に歸せん

【北京八日發國通】敗戰につぐ敗戰にあえぐ蔣介石は、敗戰の汚名をそゝぐべく掉尾の力をふるつて失地回復を目論み、前線將領に對し四月十日を期し一齊進擊を命令したと傳へられる、既に北支にあつては南部山西隴海線徐州南方一帶にわり一部進擊を開始し隨所にわが軍との間に激戰を繰りかへし大打擊を蒙りつゝある、此の敵の反擊は蔣政權内部に鬱然と擡頭しつゝある矛盾相剋を日本軍占領地域への攻勢によつて轉換克服せんとする將介石苦肉の策であることを看破したわが軍は全線にわたり至嚴なる警戒網を一層嚴にし水も洩さぬ包圍網を敷き一擧に敵の出鼻を挫くべく反擊の態勢を整へてゐる、而して支那軍は最近

一、四月一日攻擊の失敗に依り將兵共自信を全く喪失しつゝある
一、四月十日攻勢の意圖が蔣介石の前線においては雜軍整理の強行、共産軍地區への中央軍の侵入、後方においては和平論、交戰論の對立を克服し窮通打開の途を講ぜんとするにあること明瞭であるため前線の雜軍將領は一身の保全策を、共産軍は中央軍の侵入を拒否、地盤擁護に狂奔しつゝある實狀である
一、わが空軍の連續的爆擊と給與の劣惡のため戰線を脫逸し任意に歸鄕若くは我軍に投降する者續出してゐる

かくの如き情勢の下に於て四月十日攻勢を呼號するも實際的にわが軍の猛擊により支那軍の沒落に拍車をかける結果をみるものと觀ぜられ苦悶せる蔣介石の今後の動向こそ注目に値する

武漢特別市政府 四月廿日前後成立せん

【漢口八日發國通】武漢地方新政權への發展母體たる武漢特別市政府は、既に諸般の樹立準備を終り初代市長の人選については武漢治安維持會、各路聯合會、武漢救國會を中心に廣く全支に亘つて適任者を物色中であつたが、元冀東政權財政廳長張之滀氏を推戴するに決し同氏に出馬懇請中のところその受諾を得たので愈々來る十日武漢治安維持會に於て市長推戴式を擧行、三鎭七十萬民衆の總意にもとづき同氏を初代市長に推戴する事になり、同氏は八日某地より來漢した、而して新市長の手によつて特別市政府開廳の最後的準備を遂げ、大體廿日前後に特別市政府の歷史的成立を見る筈である

なほ同氏は張公堤を築造して漢口を水魔より救ひ、今なほ民衆より三鎭の守護神の如く崇拜されてゐる張之洞の孫に當り三鎭とは因緣深くその政治的手腕は冀東政權財政廳長時代より定評ある練達の士である

南山西猛爆

【〇〇基地八日發國通】わが陸鷲の精鋭は敵潰滅を期し爆擊に偵察に地上部隊に協力し連日縱橫の活動をなしてゐるが、七日の活躍狀況左の如し

一、原田部隊は潞城および林縣、河西間の敵陣を爆擊多大の損害を與へた
一、須藤部隊はわが連日の猛爆に大混亂に陷つてゐる林縣、陵川、澤州及び陽城附近一帶の敵軍に對し又復反復猛爆擊を加へ敵陣を木ッ葉微塵に粉碎した

德川公、副島伯 オ委員を辭任

【東京國通】國際オリンピック委員德川家達公は高齡と病軀を理由にまた副島道正伯はI・O・C委員長ラツール伯の慰留を謝絶して昨年末の公式表明通り東京大會返上の責任を負ひ共にその地位から退くことに決定、七日ラツール伯に宛て連署の辭任電報を發した、かくて故嘉納翁を加へ日本のオリンピック委員三名は空席となるに至つた、後任にはオリンピック事務總長永井松三、體協會長下村宏、同副會長平沼亮三、同理事長末弘嚴太郎の諸氏が噂されてゐる

防共協定參加調印 フランコ政府公表す

【ブルゴス七日發國通】フランコ政府は七日去る三月廿七日ブルゴスにおいて日獨伊三國大公使との間にスペインの防共協定參加議定書に調印を了した旨公表した

佛政界重視

【パリ七日發國通】フランコ政府の防共協定參加は既に三月二十七日調印を了してゐたにも拘らず、イタリーのアルバニア進擊を俟つて發表された、殊にフランス政界では持廻り會議に附してこれを重視してゐる、愈々スペインが正式に防共陣營の一員となつたことは今日迄の執拗な英佛のフランコ政府牽制策が完全に失敗に歸した事を明らかにするもので、かゝる結果に立ち到るを恐れゝばこそフランスは一國の元老ペタン元帥を駐スペイン大使として兩國々交の調整策に腐心したのであるが、今やフランス外交は煮湯を呑まされた形である、フランコ政府の防共陣正式參加の結果はイタリーのスペイン駐兵恒久化も必至とみられ、フランスは南北國境同時防備の苦境に立つに至つた譯である

慶賀の意を表明 外務省情報部長談

【東京國通】二年有半の内亂を克服せる西班牙フランコ政權は三月二十七日ブルゴスにおいて日獨伊原署名國代表との間に正式調印を了しこゝに防共陣營は更に一大威力を加へて六ヶ國を包含するに至つたが、特に歐洲政局が極めて微妙なる動きをなしつゝある今日地中海の咽喉を扼するスペインの防共樞軸參加は頗る意義深きものがあるが、外務省では八日午後零時半大要左の如き情報部長談を發表、同國の防共參加に對し慶賀の意を表明した

今回のフランコ將軍を首班とする更生スペイン國は正式に日獨伊を原署名國とする防共協定に參加した、混沌たる歐洲政局の眞只中スペインが防共陣營に加はつたことは洵に意義深きものである、先年來スペイン國内は赤白の二勢力に分れ骨肉相食み同胞相殺す慘劇を演じ來つたがフランコ軍は本年早々バルセロナを占領し去る三月二十八日には遂にマドリッドを陷れて過去二ヶ年有半に亘るスペイン内亂もフランコ將軍の決定的勝利をもつて終結した、防共陣營の諸國は夙にフランコ政權を承認し赤色屈伏の大業に十二分の支持を與へて來たが、帝國政府は更生スペインのこの輝しい業績に對し滿腔の敬意を表すると共に今後倍加の協力により兩國關係の愈々緊密ならんことを熱望する

加盟國の喜

滿洲國 滿洲國政府官邊では友邦スペインの防共協定加盟に對して極めて滿足の意を表し、防共締約の强紐性歐洲政局の動向につき左の如き批評を下してゐる

スペイン・フランコ政府の協定參加はフランコ軍蹶起の當初より當然豫想されたところで怪しむに當らないが、同國の參加は獨伊の歐洲における外交的勝利とみることが出來やう、これによつて友邦イタリーは地中海に對する發言はより重きを加へ、英佛への脅威は更に倍加するものと思はれる從つてイタリーはその餘力をバルカン方面に向け英佛の獨伊包圍陣形に對抗する手段を積極化するだらう

伊太利【ローマ七日發國通】ローマ政界ではフランコ政府の防共協定參加に極めて滿足の意を表し、これを以てフランコ政府の外交に對するよき警告と見、さらに延いては獨、伊兩國が民主々義諸國の抱いてゐる幻想に對する良き警告とみてゐる、過般ハンガリーの防共陣營參加勸誘に成功し今回又スペインをも獲得し得た事は獨、伊樞軸の外交的進出の證左として絕讃してゐる

獨逸【ベルリン七日發國通】ドイツ朝野ではフランコ政府の防共協定參加を双手を擧げて歡迎、殊にドイツのチエコ及びメーメル併合、イタリーのアルバニア進出と相前後して實現した點に意義を認めこれらの一聯の事件によつて持たざる國の持てる國に對する攻勢は一層强化したとの見解をとつてゐる

人事往來

▲荒川陸三氏(會社員)八日東京中央ホテル
▲伊藤貞勝氏(官吏)同
▲岩崎登氏(會社員)大都ホテル
▲甲斐喜八郎氏(滿洲鹽業社員)同
▲吉原豐吉氏(會社員)同
▲松田淸三郎氏(商業)同
▲竹中喜義氏(錢高組奉天支店長)同
▲中山久雄氏(松本組社員)同
▲栗原彌二氏(滿洲電業支店長)滿蒙ホテル
▲相良三助氏(會社員)同
▲周培炳氏(滿鐵社員)ヤマトホテル
▲村田滿日社長 同
▲小日山直登氏(昭和製鋼社長)同
▲米田寛氏(會社員)同

偶語

北滿のさる拓士の家で畜牛が發病した▼容子が變なので直ちに縣公署の專門家の診察を求めたところ誠をかけてもよろしいと牛疫でないことを明確に斷言した▼最初の一頭が五頭となり遂に斃死して終つたあとで▼誠をかけてもよろしいと牛疫にあらざることを明確に斷言した縣公署の件の專門家は誠に申譯ない許してくれとあつさり自分の誤診を詫びたばかりでけろりとしてゐる▼その專門家にして見れば一頭の農に惡印象を烙きつけられるやうな恥じとは感じないであらうが拓士にして見ればわが愛兒を喪つた以上に諦めがつきかねる▼過般全滿を襲つて三萬餘頭の畜牛を斃した牛疫の裏には至るところかうした悲劇があつたに違ひない▼かうした悲劇がどうして起るのかその源を掘り下げて見ると政府當局の方針が夜行的であるといふことに歸着する▼何も畜牛と限つたことでない家畜を入れるには獸醫なり血清が萬全でなくとも間に合ふ程度の準備がなされてゐなければその計畫は恐るべき冒險である▼拓士にとつては人間に亞ぐ貴重な家畜を試驗台に上されることは餘りにも犧牲が大きすぎる

社説 英國の包圍策への疑問

英國のチエンバレン首相が去る三日下院に於いて「ポーランドの獨立保障に關する聲明はイギリス外交政策に新紀元を劃するものであり、イギリスは右によつて從來イギリスの執り來つた大陸に對する〃公約も與へず、義務も負はない〃といふ政策を一擲し、進んで歐洲の安全保障にイニシヤチヴを執らんとする方向に向つた」と述べたのは英國外交政策の轉換を示したものとして注目されるところであつた。曾つてドイツがズデーテンはドイツの最後の領土的要求であると述べたのに英國が安心してゐたのは全く裏切られ、英國の見込み違ひは明白となつて、この轉換をなすことを餘儀なくされたのである。チエンバレン首相もこの轉換について「これはドイツの武力政策がその行くところを知らず、かつドイツの國際的信義に對し大なる疑問を持たざるを得ない事態が相次いで勃發し、ドイツはその強大な武力によつて世界制覇を企てつゝありとなす見解をとらざるを得ざるにいたつた結果である」と述べてゐる。英國は今回ポーランドに與へた一方的保障についても、これは決して右國境地域にのみ向けられたものでなく、その背後にある重大なドイツの企圖に對して向けられたものであると説明してゐるのである。英國は斯かる行動に出ながら、英國としてドイツ國民に對し敵意を持つものではないといふことを辯明してゐるが、斯くの如きは單なる言葉の上だけでの表現でしかないであらう。英國首相はまた英國の政策は傳へらるゝが如きドイツを包圍せんとするものではないと述べてゐるがこれも矛盾した言葉であらう。ドイツの重大なる企圖を目標とするといふ以上、包圍政策が事實の上に推進せしめられてゐることは疑ひを容れぬのである

問題はこの英國のドイツ包圍政策がいかなる程度に成功するかにある。もと〱ドイツのバルチック方面に對する政策はその東方政策の重要な内容であつたのである。それは共產主義に對する防壁とする意味からも、ウクライナの豐富な產物を欲する意味からも、またスラヴ民族に對するヒトラー總統の考へ方から割り出した政策から見てもバルチック政策の重要性は首肯されるのである。大局から言へば、ポーランドはソ聯から離れドイツに接近せざるを得ない情勢にあると思はれる。したがつて英國のポーランドに與へた保障といふものは、一種の無理を行つたものであると言はざるを得ない。かかる無理が果して充分な效果をあげ得るであらうか。英國のドイツ牽制策はすでにその第一歩からして破綻を來す可能性を多分にはらんでゐると考へられるのである。

伊のアルバニア進攻は極て當然の處置
獨コムミユニケ發表

【ベルリン七日發國通】イタリー軍のアルバニア進擊に對しドイツはイタリー政府より事前に通告を受け諒知してゐたものといはれてゐるがドイツはイタリーの今回の行動は全く正當と思考する旨左の如く態度を表明した

アルバニアに於るイタリー權益を擁護するためイタリーが今回とつた措置に對しドイツ政府はアルバニアに何等の利害關係を有してゐない、西歐民主々義諸國が正當にして非難の餘地なきイタリーの行動に干渉せんとする理由を解し得ない、イタリーは自國の對岸にあるアルバニアに於るイタリー人の安全が脅威に曝されるのを默視し得なかつたのだ

伊、ア新協定成立か

【ローマ七日發國通】アルバニア國王提議の和平案を基礎にイタリー、アルバニア兩國間に協議が進められた結果、新協定が成立した模樣である、新協定内容はアルバニア國王ゾツオグ一世が退位し、アルバニアは完全にイタリーの保護國となるとの説が有力であり右の説に關してはイタリー政府筋は目下の所肯定も否定も避けてゐる

佛、英共同對策か

【パリ七日發國通】フランス政府は現地よりの情報に基きイタリー軍のアルバニア出兵問題を檢討中であるが、イタリー今次のアルバニア出兵は地中海現狀維持並にバルカンの勢力均衡破壞に至るとの見地から英國政府と連絡し共同對策をとる意向といはれる、而して一般國民にはいまやいづれ戰爭が始まるであらうとの觀念が強く既に平和を云々する時期は過ぎ去り好むと好まざるとに拘らず戰爭は不可避との感情が民衆を支配し國民は次々に召集される血族、友人を身近に感じて居り、力のみが祖國を救ふといふ自覺を暗默に抱きつゝあり一年前と心理的には全部が變つた觀がある

パース駐伊英大使抗議

【ローマ七日發國通】パース駐伊英大使は七日午後零時半キヂ宮にチアノ外相を訪問しアルバニア出兵に關する英政府の抗議書を手交したのち同問題につき説明を求めた、右に關し伊政府は同日英國に對し然るべき説明を與へた旨發表した

ギリシヤ政府成行き注視

【アテネ七日發國通】イタリー軍がアルバニア進駐の餘威を驅つてギリシヤ領コルフ島をも占領するのではないかとの風説はギリシヤ政界に多大の衝擊を與へてゐるが、ギリシヤ首相メタクサス將軍は七日朝來緊急閣議を召集して愼重對策を協議するとゝもにバスカレル伊公使をはじめ關係各國使臣の來訪を求め意見の交換を遂げた、ギリシヤ政府は未だ何等公式意見の發表をしてゐないが、官邊は極度の緊張を以て事態の推移を注視してゐる

ユーゴー政府 國境を閉鎖

【ベルグラード七日發國通】イタリー軍のアルバニア進駐は隣邦ユーゴースラヴィアに甚大な衝動を與へ政府は七日攝政パウル殿下臨席のもとに緊急國務會議を開催對策を協議した結果、萬一の場合に備へてアルバニア、ユーゴー國境を閉鎖することゝなり直にその旨國境守備兵に命令したもつともユーゴー政府は既にイタリー側から權益尊重の保障を得てゐるといはれ官邊は比較的冷靜を持してゐる

カ、エ兩島の係爭問題解決

【ワシントン六日發國通】南太平洋フエニツクス群島中のカントン及びエンダーベリー兩島の歸屬は、かねて英米兩國間の係爭問題となつてゐたが、今回いよ〱最終交渉が纏り、兩國政府は六日兩島に關する兩國の取極めにつき覺書を交換し、米國々務省は即日これを發表した、その内容要旨次の通り

一、カントン、エンダーベリー兩島は爾後五十年間英米兩國これを共同管理す

一、兩國は右兩島を交通、通信事業に利用し、且つ空港として使用することを得、但し航空事業に關しては民間航空のみに限りその使用を許す

一、右空港は米國側航空會社の手でカントン島に設置し英國側航空會社の使用を許す

ア、メ兩公使信任狀を捧呈

【東京國通】新任アルゼンチン國特命全權公使ドクトル・ロドルフ・モレーノ並にメキシコ國特命全權公使ブリモ・ビワアミツチエルの兩氏は、七日午前十時相踵いて宮中に參内、鳳凰の間に於て 天皇陛下に拜謁仰せつけられそれ〴〵信任狀を捧呈した、陛下には兩公使に對し優渥なる勅語を賜ひ兩公使は恐懼して宮中を退下した

臨時國勢調査 八月期し施行

【東京國通】政府は國民の消費に要する物資の數量、金額及びその地域的分布の狀況、配給の狀況を詳かにして諸般の政策の立案及び實施に資するため、來る八月一日を期して臨時國勢調査を行ふことに決し、六日中央統計委員會に右調査要項を附議、正式決定を見た

負傷を秘して武寧攻略完成
强情者揃ひの高木部隊

【上海八日發國通】激烈を極めた武寧攻略戰で高木部隊の奮戰は目覺しく同部隊の指揮官の中羽田野種雄（大分縣出身）宇留島逸雄（鹿兒島縣出身）兩隊長は戰死し、森田省吾隊長（大分縣出身）は重傷を負つたが、高木部隊長以下各隊長は負傷の身を隱して最後まで戰ひ續けたことがこの程判明、各部隊將士を感激せしめてゐる、高木環部隊長（大分縣出身）は去月二十一日陣庄北方加白老の激戰で迫擊砲の破片により右耳を負傷したが、部下に知らせずに一人で手當を濟ませて戰鬪を繼續したものである、吉田竹八隊長、三宅保雄隊長、園田俊吉隊長の四將校も何れもが二十三日から廿七日までの間に陣庄附近の戰鬪で負傷したが、誰も申合せたやうに部下には一度も告げず部隊長にも秘し、齒を喰ひしばり武寧攻略を完成したもので、最近城内に相會した各部隊長が「やあお前もか」と今は戰死、重傷でその場になき羽田野、宇留島、森田三隊長を偲び乍ら互ひの勞をねぎらつてゐるところへやつて來た高木部隊長「わしにも云ふと後送されるものだから默つて來たのだらう」その部隊長の右耳にも部下に匿し續けてゐた傷が未だ生々しいのである

部下の死を悼む 溫情岩崎部隊長

【武寧八日發國通】僅少の兵力をもつて敵約十九個師を擊破遺棄死體實に九千百を算し堅城武寧を屠り赫々の殊勳を樹てた勇將岩崎部隊長はまた風流な溫情の部隊長でもある武寧占領後同部隊長は武寧西方一里桃の花咲き亂れる蔣庄の部落に暫時の休養をとつてゐるが、尊い犧牲となつた部下將士の幻影が片時もその腦裏を離れず、ある時は青葉薫る修水河畔に立ちある時は蛙鳴く田の畦に立つて英靈の冥福を祈つてゐるのだ、占領後十日目の七日午後同部隊長を訪れると

行動開始から陥落まで私は殆んど眠れなかつた、勿論着のみ着のまゝ横になるだけなので濡れた長靴も一度もぬいた事がない、そのため足が又脚氣のやうに腫れ上りそのむくみは未だ去らない、と奮戰の模樣を語つた後、左の如き武寧攻略戰と題する自作の詩を記者に示した

一、榮種花咲く江南の 山野はけむる春霞 敵堅要に布陣して

二、戰機は迫る眉眼山 三月廿日朝ぼらけ 總攻擊の命下り 冷雨を冒し忽ちに 敵の二個團打破る（中略）

八、鮮血淋漓草を染め 伏屍累々野を埋め 多數の戰友失ひて 痛恨何ぞ忘るべき

九、されど屈せぬ大和魂 廿七日上陸の 月明りに敵陣を 突破し下庄を占領す（以下略）

從化、花縣地區で敵一個師を包圍
南支派遣軍の活躍目覺し！

【廣東八日發國通】南支派遣軍報道部發表＝從化、花縣方面に作戰中なる○○部隊の四月七日午後三時までにおける戰況左の如し

一、第一縱隊は六日早朝流溪水を渡河し從化西方地區を經て同日午後帽山附近の敵を擊破同夕刻蓮湖墟を占領し敵の退路を完全に遮斷せり

二、第二縱隊は前驅部隊に續いて流溪水を渡河し太平城西北方の峨々たる山岳地帶の到る所において抵抗する敵を擊破しつゝ同日午後寄子山附近に進出し、その一部隊は獅前市東側地區において優勢なる敵と交戰せり

三、第三縱隊は六日花縣附近において敵の大部隊を擊破し同日夜獅前市東方及び蓮湖墟附近に進出せり

四、かくて獅前市附近にあり約一個師の敵は全く前記各縱隊の包圍圏内にあり、その一部は北方に遁走せしも大部はわが包圍軍の爲逐次壓縮せられ今や全く潰滅の運命にあり

維新政府首腦十三日訪日の途へ

【南京六日發國通】かねて訪日を傳へられてゐた維新政府立法院長溫宗堯氏ならびに内政部長陳群氏の一行はいよ〱來る十三日南京を出發することになつた、なほ大民會主催の維新政府一周年記念事業訪日視察團一行卅名もほゞ人選を終つたので來る廿日頃出發の豫定で同會で訪日の準備が着々進められてゐる

入學勸誘に協力
青年學校の入學期を迎へて
大使館 關東軍 當局より要望

大使館教務部長並に關東軍兵事部長は青年學校の入學期を迎へ各機關並に一般雇傭者の協力を求めるため左の如き談話を發表した

□

今や東亞新秩序建設の一大躍進期に當り、一國興隆の源泉たる青少年の教養訓練を徹底せしめ、その資質を向上し、健全なる思想精神の確立を圖りその知力體力を增進し、以て國防力の

强化に 寄與し、生產力擴充の根幹を培ふの要あることは、現下の重大時局、並びに更に重大なるべき今後の時局に對處して、まことに喫緊の要務たることを確信する次第であります、而して、これがためには、青年大衆唯一の教育機關たる青年學校をして、益々充實發展せしめ、これが教育の完璧を期して行かなければならないのでありまして、御承知の如く、内地に於ては、既に昭和十四年度を期して青年學校義務制の實施を決定致した次第であります、この青年學校義務制に對しては、滿洲に於ては滿洲の特殊事情を考慮し、義務制實施と同樣の效果を收むるべく努力致す次第でありますが、義務制たると義務制たらざるとを問はず今後如何にしても、益々青年學校の充實發展を期して進まなければならないのでありますから、何卒各位に於かせられては、制度の實施如何を俟たずして、昭和十四年度よりは、既に

義務制 の實施せられたるが如き心構へを以て、青年學校に入學すべき青年の入學勸誘に格段の御協力を御願ひ致す次第であります、殊つた青年學校の實績に就きましては、今次の事變に於て、北支中南支の戰線に忠勇義烈の奮戰を續けまする勇士、その中には多くの未教育補充兵のお方も召集されてゐますが、青年學校出身の未教育補充兵のお方は立派に一人前の勇士として活躍せられてゐるといふことであります、又內地の農村漁村に於て銃後の守りを固めて居ります者も青年學校の教育を受けたる者が、中心となつて、涙ぐましいまでの緊張を續けてゐると云ふことでありまして、青年學校の教育力は今次の事變に於て、著くその眞價を認識せらるゝに至つたことを信ずる次第であります

斯くの如く青年學校は近年に於て其の數に於て又内容的にも逐次成績を擧げて來てはをりますが何と申しましても今日までの情勢に於きましては、或は入學勸誘とか出席督勵といふ方面に努力の大部分を拂はされまして、眞に青年學校の内容を充實し、新時代にふさわしき青年を養成すべく

全力を 傾注することはなかなか困難であつたのであります從つて青年の氣力、青年の體力、青年の實力、新時代に對する青年の自覺等、これらのことを在滿青年の一人々々について考察致しましても現狀はまだ〱十分とは申されないのでありまして、近時徵兵檢査において青年の體力の低下しつゝあることの一事實を以てしても國家として一日も捨てゝはおけない大いなる問題であると信ずるのであります、青年の體力低下の原因如何といふ點から青年學校生徒の睡眠時間等を調査致したのによりますと、商店等に勤務する青年に平均一日五時間位の短い睡眠をとつてゐるものも多く、これ等の青年程仕事は眞面目に勵き、青年學校にもよく出席するのであります、これでは青年にとつて過勞ではないかと案ぜられるのでありまして、青年學校を義務制にする問題も詮じつめれば雇傭主たる各位になほこの上に心からなる親心を持つて戴き、せめて一日に一時間か二時間を青年のための勉學の時間として與へてやつて戴きたいと言ふことになると思ふのであります、斯くの如く體力の向上におきましても亦知

力、實力の涵養に おきましても青年學校は今や第二段の躍進期に這入らねばならないのでありますが、これにはどうしても青年雇傭主各位の便宜を與へて下さるに勉學の全面的御理解を得なくては到底その實績を擧げることは出來ないのでありますから何卒各位にはこの上ともに青年をして勉學の機會をお與へ下され生徒の入學勸誘出席奬勵は各位においてどこまでも責任を持ち在滿の青年は一人殘らず青年學校に入學せしめるの意氣込を以て御協力あらんことを切望する次第であります、幸ひに在滿の各位には既に青年學校の目的趣旨を理解され、各地とも青年學校の後援會を組織せられ官廳をはじめ在郷軍人會、國防婦人會等の各種團體の御協力によつて精神的にも物質的にも一方ならぬ御後援を戴き新年度に當つては入學勸誘座談會等に於て特に御協力下さることは誠に感激の極みであります、滿洲事變を一大轉換期とし今次事變を一轉期として青年教育の重大性も更に更に擴大致して參つたのでありますから、どうかなほ一層の御協力を御願ひして止まぬ次第であります

青年學校振作に關する關東軍兵事部長談左の如し

□

內地においては多年の宿望であつた青年學校の義務制も長期建設の線に副ふて遲くも本年五、六月頃迄には實施せらるゝことになつて同慶に堪へぬ所である、之を從來の經驗に徵するに

本年度 の運用については他の學校經營に比し著しく困難が伴ふが、反面又效果の大なることは今更言を俟たないことで要するに國威の振否は國民資質の優劣度如何に因り決せらるゝのである、わが在滿青年學校は地域の關係上未だ內地の如き義務制を採用してはないが、在滿青少年の重要使命より稽へる時はそれ以上に訓化したいと常に考へて居る譯で、差當り滿洲に於ては一般雇傭主各位の奮起を煩はし積極的な後援に依り一層振作向上の成果を收め滿洲建國の理想に到達せしめたいと念願してゐる、一部雇傭主中には未だこれに對する關心協力度に於いて缺如せるかの如く見受けらるゝものゝあるのは本制度のため寔に遺憾とする處である關係當事者の苦心の存する所は實にこの點であつてこれさへ解決せらるゝならば本事業の遂行貫徹も易々たるべく切に市民各位の協力を期待して已まない次第である、例へば學校當局の熱心なる入學勸誘、出席督勵に對しても店務多忙に名を藉り進んで之に應ぜず何等實績擧らず、其の後

再度の 訪問に際しては口實を設けて面接を避くるが如き風を感知せらるゝ如きは速かに改善せられたい、寧ろ多數該當青年を擁する商店、工場等においては進んで一教育班を編成し訓練の效果をあげ引いては店務に及ぼさせしめ一石二鳥を得る樣せらるゝのが適當と信ずる、中には雇傭青少年全員を入學せしめ之が通學時店扉を閉ざして便宜を圖り物心兩方面に亘る後援鞭撻しある店主すらあり、之に對しては敬意と感謝の意を表する次第である、要するに本事業運用の成否は當事者は勿論であるが、市民各位においても遠く父兄の膝下を離れ國策線上に活躍しある次代の國民、我等の愛すべき在滿青少年を指導鞭撻し進んで修養研鑽に精進せしめ將來國家有用の材たらしむべく御協力あらんことを切望する次第である

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

ラヂオテキストに就いて（語學ファン）

滿洲電信電話株式會社に申し上る、ラヂオに對して販賣を進捗して行くは誠に結構な事である。目下全滿至るところ語學がやかましく申されて居る時に、語學を家庭において習ひたいと思つてゐる、ラヂオも無理をした買つた、然るにラヂオテキストがない、私は、寶山百貨店前にある營業所へ求めに行つた所目下品切半月程先には出來ると申された、其後半月程立つてから行つて見た、相變らず前の樣な事を云つた、そして又十日程してから行つた、まだ出來てゐない、語學を習ひたいと思つてをり乍ら習ふ事すら出來ず、ラヂオを購入した目的は語學を習ふ爲とニュースを聞く爲で買つたのだ、語學の方は目的が外れた、秩父先生は毎日熱心に教授していらつしやるに拘ず、ぼんやりとそれを聞いてゐるだけだ、實に勿體ない事である、テキストを何百冊何千冊と作つて置いたらどうか、そして、語學ファンに何時にても購入出來る樣切に希望する、一冊の定價いくらか、十錢程だ、一千冊あつたところで大した事はないまる切り賣れなかつた處でラヂオ購入者に對するサービスと思へばよいだらう、電信電話會社は太いのだからわずか位をけちつくな、第一に購入者の便宜を計り給らん事を願ふ

油坊、輸出兩業者 緩和方を陳情

大豆豆油輸禁問題波紋擴る

特產市場に大きな波紋を描いてゐる大豆、豆油の對支輸出禁止問題は既約定處分をめぐり油坊、輸出兩業者共通に早急の對策を迫られてゐるが、油坊側では更に操業停頓の憂ひ濃厚となり產業發展上打棄ておき難く何等か情勢打開の必要ありとし政府並に關東局に禁止緩和の陳情をなすに至つた、一方輸出商側もこの際早急に態度を決定するを可とし七日午後二時半滿洲重要物產組合事務所に大手筋業者代表、照井同組合書記長、一乘取引組合理事等參集協議の結果國策に順應すべきは必須である、が輸出業者の立場と對支輸出禁止によつて起る不測の實害の如何に大なるかを當局に對し說明するといふに意見一致し、駐滿全權大使、關東局、州廳並に滿洲國政府に實情を開陳し善處を乞ふことに決定、代表者は來連中の大津關東局總長を八日午前十時宿舍ヤマトホテルに訪問、陳情書を提出することゝして散會した

小麥粉關税 近く撤廢か

關税の積極的意義喪失

滿洲國における主要食糧品たる小麥粉の年消費高は大約三千萬袋で、このうち國內生產は約二千五百萬袋見當と見られてゐるが、この不足分に對しては原料小麥の增產、包米高粱粉の代用食奬勵、輸入等の三點に主眼を置き政府、粉聯を中心に自給自足の立場から銳意これが充足に腐心してゐる、增產或ひは代用食に關し銳意努力してゐるとは言ふものゝ結局相當量の輸入に俟つのほかなく之が具體案の樹立については產業、經濟兩部協力何等かの具體的方策を樹てることゝ思はれるが、當面の問題として關税撤廢問題が取上げられ、數量的輸入促進その他の事情より推して近く實現するのではないかと見られる、現在小麥粉關税は一袋三十七錢で日本よりの輸入粉と奉天における小麥粉五圓八十八錢との差は約一圓高となつてゐる、今關税を撤廢するとせば一袋卅七錢、輸入數量を約五百萬袋と押へれば百八十五萬圓となり、これだけ國庫收入減となるわけであるが從來のまゝで行けば約五百萬圓で、その一部を政府で補助するか、全額を明年度の統制料を擔保に粉聯に貸付けるかの二途になる、これは勿論對日本のみの例に過ぎないが、既に滿洲における小麥粉の現狀からは關税の積極的意義を喪失したものと云ふべく、結局小麥粉輸入必至或は價格等の點から推して近く實現するのではないかと思はれる

特產物檢查法麻袋檢查標準改正

政府は重要特產物檢查法第二條における麻袋檢查標準に關する件を左の通り改正、六日產業部令をもつて公布、即日實施された

一、第一條第一項第一號中「麻袋は標準品と同等以上の品質を有する約縱一〇一糎、橫七一糎、重量一・〇瓩の鐵色一筋入のものにして裏返に非ざるもの」を「麻袋は標準品と同等以上の品質を有する約縱一〇一糎、橫七一糎、重量一・〇瓩のものにして裏返に非ざるもの」に改む

二、第二條第一項第一號中「麻袋は標準品と同等以上の品質を有する新麻袋にして約縱一〇一糎、橫七一糎、重量一・〇瓩の鐵色一筋入のもの」を「麻袋は標準品と同等以上の品質を有する新品にして約縱一〇一糎、橫七一糎、重量一・〇瓩のもの」に改む

附則

本令は公布の日より之を施行す

麻袋の配給

四月中の割當方法

滿洲麻袋組合では四月中の麻袋配給方法を次の如く決定した、即ち

四月中配給の麻袋配給可能量は輸入および國內生產を合せて六百四十萬枚であるが、これが配給方法は二月中の申込みを基礎として各地需要家に對する配給可能數量を全滿を十九地區に分ち地域別と店別割當を算定（縣別、驛別に査定）し、その要否を照會、その回答を待つて配給の最後決定をなすもので一兩日中に右照會狀の發送手配をなすことゝなつた

なほ右は三井、三菱、興隆、利豐その他第三國輸出商および三泰、瓜谷、日清その他大手筋、計十三社に對する配給を含まず、これらは一括して別途に配給數量を割當て仕向地は各社の申出を待つて決定する、又麻糸の配給は四月一日以後の申込に對しては價格を一梱八十五圓（統制手數料を徵收せず）とすることになつてをり、近くこの旨新聞紙上に公告して需要者に周知せしむることになつた

母を訪問記

（9）敷島高女旅行團便り

二見ヶ浦—江ノ島

雨戶をくる音に夢をやぶられる。〝さうだ〟昨夜は二見に泊つたんだつたと今更の樣にあたりを見まはす、昨夜のあわたゞしさにすつかり疲れてしまつた體を磯打つ波の音を子守唄と聞きながら靜かに橫たへて早や數時間、百五十枚の疊の敷きつめられたこの大廣間、周圍には手すりが廻らされ、硝子戶がたつてゐる左手を見ればすぐに伊勢灣！見わたす限り渺々たる大海原沖をかすかに白帆二ッ三ッ……行き合ふて、汽船の鳴らすスティームウイスルが、一つ〳〵綠の輪になり次々と碧空の中に消えて行く……。

夢のやうな情景……磯邊づたひに夫婦岩へと步みを運ぶ期待のはずれたのにいさゝか失望を感じたけれども、朝日に照らし出された兩巖にかはされた注連繩は波の飛沫にぬれて神々しさ極まりない……金波銀波は靜かに岸を打ち雞は鳴の時を知らす、この樣な風景に失望の心を充分滿たしてくれた。出發時間は刻一刻と迫り愈々出發。去り難い思ひを心強くすてゝ二見を出發した。

□　□

車窓遙かに綠の山を望み果てしなき曠野の代りにせまくるしいけれども整つた田畑が見え、黃金色のみかんが鈴なりになつて、淸らかな水が谷間を落ちてゐる美はしい故鄕の山河が眼前にくりひろげられる。やがて藤堂高虎の舊城趾の津市を過ぐれば、千姬と出羽守の故事で名高い桑名の驛。その中に一其の手は桑名の燒蛤一の詞で知られてゐる燒蛤の看板もちら〳〵と見えてくる。木曾川の鐵橋を渡れば名古屋驛。五分間で汽車〝乘換へ、その忙しい事くる〳〵舞ひをさせられた。でも無事に乘車、言葉ののつゞく中にほんのりと紅の花が浮ぶ。〝尾張名古屋は城で持つ〟あの有名な金の鯱がお城の天守閣できら〳〵と光つてゐた、藤澤まで未だ八時間ある。大分窓外景にあきが來たのだらう室內ゲームが流行つてゐるトランプをして悲鳴を上げてゐるもの、智惠の輪になやまされてゐる人、小說によみふけつてゐる讀書家、さうかと思へば殊勝にもお便りをしたゝめてゐる人もゐる、ホームシックにかゝつてゐる樣な人が一人もゐないのは心強い事だ。窓外には田畑がずつと續いてゐる。若い男の人達は大君のしこの御たてと出で立つて後に殘つた女子供でたがやされた此田畑！秋になればこの人達の努力の結晶がたくさんかりとられるだらう〳〵人々よ助け合つて進んで下さい皇國の爲に！〟思はず叫ばずにはをれなかつた私達の興奮を乘せて汽車は藤澤に着いた。すべてに飽きてしまつた心もやつと晴々として未だ見ぬ江の島の話でもちきりになつて了つた。電車で鮨詰めにあつてぐつたりした體を、うんざりする樣に長い棧橋（六六〇米）が迎へてくれた。〝なんて長いんでせうね！〟〝嫌になつちやふ〟口々にこぼしながら眞晴な橋を渡る、眞白な波頭をもち上げて押し寄せて來る波が何かしら不安な氣持を抱かせる

□　□

長い〳〵石段をうんざりしながら登りつめると、やつと金龜樓。小雨が降り出してうすら寒い。割と感じのよい旅館だ、窓をあけると潮風が磯の香を運んで來る、榮螺の壺燒を食べる。二見では安いのにこゝは高い、香ばしい匂ひが鼻をついて心から滿足して食べる事が出來た。遠い海なりの音がかすかに聞えて江の島の夜はあくまで靜かだ。

眞白き富士の嶺綠の江の島
仰ぎ見る眼も今は淚
歸らぬ十二の雄々しき御靈に
捧げまつらん胸と心

中學の生徒が十二人ボートと共に海底の泡と消えた。悲しくも、痛ましい實話を思ひ出し何かしら淋しい氣持になつた。江の島の地圖を廣げて見る。邊津宮、中津宮、奧津宮龍窟など色々とある名所、舊跡を明日尋ねるのだと思ふと嬉しかつた。「稚兒ヶ淵」〝あゝこゝなのだなあ！〟とあの昔話を思ひ出した、その昔話といふのは、昔持林倉主といふ坊さんがあつて、その寺に仕へてゐた白菊丸といふ稚兒を溺愛し、自分が佛門にあることを忘れ、あるまじき態度をとつたのでその稚兒は〝白菊を偲ぶの里の人問はゞ思ひ入りたる江の島と答へよ〟といふ一首をのこして投身した。稚兒白菊丸のゐないのに氣がついた倉主はあちらこちらと稚兒を求めて探し步きこの淵に來て白菊の投身した事を知り始めて、自分の愚かな行ひに氣がついて自らも一首を殘して後を追つて投身した……といふのである。明朝早く起きたら七里ヶ濱や稲村ヶ崎がかすかに見えるだらう。大分夜も更けて來た　明日の江の島見學に期待をかけて……。【淸水、都間記】

倫敦油脂市況

中銀調査＝前週中（廿七日—二日）におけるロンドン油脂市況左の如し

△滿洲大豆　產地の强調を移し八圓八十八錢に上伸した本品は依然たる產地高に八十八錢を堅持してゐたが、週末產地の急反落を眺め八十一錢に下押した

△大豆油　產地の高値に追隨依然十八圓五十錢に釘付

△亞麻仁　引續きイギリス方面の需要は閑散ながら歐洲大陸方面の引合あり十一圓一、廿錢を保持

△亞麻仁油　買氣薄くやゝ軟調、週央廿四圓丁度の安値を示現した

△菜種　前週來依然十一圓丁度

△落花生　需要散見され强調十圓卅錢と前週より廿錢方上伸した

△棕櫚核　前週央を峠として漸落步調に轉じた本品は依然軟調を續け週末遂に九圓大關門割れの八圓九十四錢を示した

△棕櫚油　原料安につれ軟弱十二圓五十錢と前週末より一圓方の下値にまで低落した

△椰子實　棕櫚核と同樣軟調週央十圓八十錢にまで低落したが週末やゝ反撥、十一圓臺に恢復した

△鯨油　新捕鯨量見直し報に十五圓卅錢を堅持

△牛油　依然十七圓丁度

特產週況

中銀調査—前週中（廿七日—二日）の特產商品市況左の如し

△大豆　引續く麻袋高、中南支方面引合增大に急騰の一途を辿つた本品は週初高値には對策案じの警戒人氣擡頭、嫌氣投物續出し氣配惡化、大連現物八圓臺割れ七圓九十五錢、哈爾濱近物六圓六十四錢と前週末より十三錢乃至十二錢方急反落、一時軟調を呈したが翌廿八日高値にてドイツ向成約の快報あり、且つ神戶粕碇りを眺めこの邊値頃觀の押目買氣擡頭、大連現物八圓臺復歸、八圓五錢、哈爾濱近物六圓七十四錢と反撥を見せた、その後も引續く品不足による麻袋の奔騰、中南支方面引合活潑に日商、南支筋の買氣益々强く續騰、更に週央卅日麻袋統制價格大巾引上說と內地粕堅調を移し人氣沸騰、大連現物八圓八十四錢、哈爾濱近物六圓十七錢、廿八日より更に十二錢乃至十錢方、週初より二十二錢乃至二十錢方奔騰一昨年四月來の新高値を示現、異常の活況を呈したが、あと支那向大豆及び豆油一時輸出禁止說を入れマバラ筋、南支筋の狼狽投物續出、氣配一轉惡化、一齊崩落、週末大連現物八圓臺割れ七圓九十一錢、哈爾濱近物六圓六十二錢と週央より二十六錢乃至二十二錢方急反落、週中の安値を示現休日明け市況の動向關心裡に越週した

△豆粕　週初原料大豆反落、神戶粕軟調を眺め大連現物二圓六十錢と前週末より二錢下押したがあと原料大豆反騰、神戶粕碇りを入れ輸出筋の買氣を喚起、週央廿九日大連現物二圓六十二錢五厘と週初より二錢五厘方引戻したが、あと原料大豆反落に追隨、漸落して週末相場は大連現物二圓五十八錢と週央より四錢五厘方低落、週中の安値を示現、軟調裡に越週した

△豆油　週初上海需要買氣旺盛に原料大豆急反落を入れながら大連現物廿圓十五錢と前週末より十五錢方上放れ堅調にはじまり、あと一時引緩んだが原料大豆昂騰と引續く中南支方面の引合に週央廿九日大連現物廿圓四十錢と週初より更に廿五錢方昂騰、一昨年八月來の新高値を示現、異常の活況を呈したが、あと本品も中南支向輸出統制禁止品目に指定される旨の報あり、南支筋、思惑筋の狼狽投物旺盛、週末つひに十七圓廿錢と週央より三圓廿錢方急崩落、不勢裡に越週した

△高粱　前週異常の活況を呈した本品は週初引續く麻袋昂騰に大連現物六圓六十錢と前週末と同事に始まりあと奧地筋の利喰賣進みに一時小緩んだが、麥粉配給不圓滑による包米、粟の奔騰とその他一般雜穀高に週央卅日麻袋統制價格大巾引上說をも入れ大連現物六圓六十五錢と週初より五錢方昂騰異常の活況を呈したが前記事由による大豆の崩落をも眺め急反落、週末大連現物六圓五十五錢と週央より十錢方低落、軟調裡に越週した

△小麥　出來不申

△麻袋　大連商品取引所麻袋依然出來不申、市場氣配は週初古麻袋は奔騰の一途を辿り遂に一圓賣唱へされ現はれたが、あとさすがに賣物薄み反落、且つ麻袋無爲替輸入及び統制手數料卅二錢五厘改訂の報を入れ漸落週末は九十二、三錢唱へに越週、奉天は現物皆無に相場全く出來ず混沌、鐵一圓九十五錢見當、新京は依然ノミナル乍ら相場强調、週初鐵新一圓十五錢、週末一圓十八錢と未曾有の高値を示現、麻袋手當變更も響かず先行强調裡に越週、哈爾濱も依然現物なく鐵新一圓十錢唱へ、週末は一圓八錢と統制手數料引上げに多少反落

滿洲工業會定例役員會開催

滿洲工業會では七日午後二時半より同會議室で定例役員會を開催

一、第三回運輸委員會の經過並に運輸實行委員大村總局長と折衝顚末

その他二件の報告あつて後來る十五日開催の總會に附議すべき

一、第五回社團法人滿洲工業會事務報告に關する件

一、同康德五年度經費收支決算並に財產目錄に關する件

一、同康德六年度經費收入豫算に關する件

につき夫々打合せを遂げた

新京取引所三月中重要物產商況

新京官營取引所の三月中重要物產商況左の如くである

混保大豆　月初二日當限六・五一〇、四月限六・六〇〇と甫まり神戶粕の昂騰に油房筋買進みて强調なりしところ大豆統制延期の報を入れ買人氣强く尙も上伸せしが高値には利喰物現はれて伸び惱みの商狀を呈したり其後實需筋の現物買進みにマバラ追隨して漸騰步調を辿りたるも吹値は賣られて引弛み跡押目買の意向强く底意堅調に結局小巾往來を持續せり、月央十五日には歐洲へ高値成約の報と豆油の强調とに依りて氣配は再び硬化し急騰を演じたるが跡高値に對する取引所關係者一同の自肅自戒の申合はせにより利喰物續出、相場は下押の商狀を示すに至りしが其後又引續く豆油の堅調と在庫薄、麻袋高等の强材料山積して下げ澁りの市況となりて往來保合相場を示現せり、春丁祀孔の休會明け廿二日には邦商輸出筋の現物買進みにマバラも買煽ひて急反撥したると古麻袋の昂騰、豆油高に依る油房筋の原料手當買等とによりて連日高値を更新し昂騰の一路を辿りて騰勢に止むところを知らざるが如き市況に三十日遂に當限七・二七〇、四月限七・三五〇、五月限七・四〇〇の新高値に吹き上げたるが、翌卅一日に至り突如として支那向け輸出の制限を發表せられたるため連日天井知らずの昂騰を續けたる市況も豆油の激落と大手筋の一齊賣浴せとに依り四月限七・〇七〇、五月限七・一五〇と大暴落を演じて越月せり

高粱　月初二日四月限四・六六〇、五月限四・七〇〇と立會ひ大豆の强調に急騰を演じ、跡奧地の賣物に反落商狀を呈したるも其後大豆の昂騰に連れてヂリ高の步調を辿りたり、中旬に入るや他品の騰勢一服に小巾の保合商狀を呈したるも月央十五日他品の昂騰を眺めて上向き、十六日各限共五圓臺を突破したるも大豆の軟調に制せられて急反落を演じた、その後雜穀高大豆の堅調、粕、油の昂騰等々によりて强勢に轉じ連日昂上の一路を辿り、二十七日遂に四月限五・五三〇、五月限五・六五〇と月初に比し九十錢方の暴騰を演じたるも、その後大豆の急落と高値警戒に反落せり、然れども他品の依然たる堅調を眺めて買人氣强く押目買意向と共に又もや急騰、四月限五・五四〇、五月限五・六五〇と再び新高値に吹上げたるもその後支那向輸出制限の發表に大豆及び豆粕の激落に買氣挫け、四月限五・三七〇、五月限五・四九〇と氣配幾分軟調裡に越月せり

家庭

子供にとつては おやつは食事の一つ
一日の食量の十分の一が適量
どんなものを與へたらいゝか

（子）供のオヤツに就てはいゝ加減な考へ方をしてゐる母親が多いやうです、オヤツは子供が喰ひしん坊だから欲しがるのではなくて、三度の食事では子供の胃が必要量を攝り切れないので、それを分割して四回分として食べることになるのです從つてオヤツも一回分の食事として考へてやらなければなりません

××

（質）からいへばオヤツは含水炭素のもので滿腹感を與へ、しかも早く消化されるものがいゝのです蛋白質や脂肪のものは消化が遲いからあまりおすゝめは出來ません、例へばパン、芋、汁粉、煎餅、甘酒、その他うどんや海苔卷、トースト、葛餅、草餅、ホットケーキ、或はおむすびに田麩や黄粉をまぶしてやるのもいゝでせう、そして果物でも添へれば申分ありません、これらは母親が手づから作つてやるところに價値があるのですが、チヨコレートやキヤンデーの類は感心しません

××

（そ）の分量は一日の食量の十分の一が標準です、つまり三度の食事に十分の三づゝ攝り、その殘りの十分の一をオヤツにあてるのです、例へば滿八歳の子供の一日の食量は一八〇〇カロリーですから、オヤツとして一八〇カロリーのものを當がふことが出來れば理想的です

××

分量が過ぎると、夕食に差支へるやうになつていけません

××

（時）間も勿論夕食に接近しない方がよろしい、やはり三時頃なら無難ですが、學校がはじまれば歸つて來た時に直ぐに與へるやうにします、しかし、食べるものを與へさへすれば緣側で食べようと庭先で食べようと構はないといふものではなくやはりちやんと手を洗つて、食卓に向つて頂くやうに習慣をつけて下さい

またオヤツを作るところや頂く機會を母と子が一緒に色々話したり聞かせたりするところに家庭教育の實が上るのですから、せめて一週間に一日位は豫定を作つて置いて實行して下さい

美味しい燒鳥の作り方

鳥の肝臟、或は小鳥、鷄肉などで美味しい燒鳥をつくりませう

先づ肉を竹串に三つ宛つ差し醬油で燒くのですが、掛醬油は味淋一、醬油一、酒三の割で煮返し、下しぎわに味のもとを、添加してつくります、燒くときには强火で煽ぎながら、掛醬油を二、三度つけて燒き、てりと味を出し燒き上つたら串のまゝ粉山椒をふりかけて供します

顔の個性をお忘れなく
眉と唇とについて

デートリツヒが人氣の絶頂にあつた時は我も我もと細いひき眉を描き、ダニエル・ダルユーが賣出すと誰もダルユー風の唇をつくる……げに日本の女性程我身しらずの物眞似屋はありません、鼻の低いのや目の

▲……（小さい）のは手術でもしない限り變へることは出來ないのですが、眉と唇は眉墨と口紅の使ひ方次第で手輕に型をつくり變へられるといふ點を利用するわけでせう、然しいくら眉や唇の型を

▲……（眞似て）みたところで、所詮はお顔そのもの、個性が各々異ふといふことを忘れると、飛んでもないピエロのやうな顔になることを忘れてはなりません

若しダービンのやうな可愛い無邪氣な顔に、デイトリツヒの眉を描いたとしたら、或はデイトリツヒのやうな陰影の濃い顔に黒々と太い眉を描き、ダルニー風の唇をつくつたとしたら凡そ各々の

▲……（個性は）まるで殺された滑稽な顔が現れることは想像できるでせう

眉と唇の型がお顔に與へる影響は大凡そ次の樣であります

丸い眉……圓滿
長い上向の眉……近代的な個性の强い感じ
下り眉……柔い感じ、度がすぎると間が拔ける
太い眉……意志的
眉間の接近した眉……神經質
はなれすぎた眉……間のびした感じ
厚い唇……情熱的（厚すぎると下品）
薄い唇……冷靜理智（薄すぎると輕薄）
突つた唇……無邪氣（すぎると滑稽）
上唇の厚い唇……魅惑的、肉感的
キユーピッド・ボー……フラッパー
唇の端の切れ込んだもの……聰明で理智的

ですから眉にしても唇にしても、矢鱈に描かないで、自分の顔全體の感じと個性をハッキリ認識した上で、自分にはどの型が一番向くかを研究してからメーキャップをなさることが大切です

〝時計〟の科學的な扱ひ方

小型懷中時計では一秒間に五回一分に三百回、一時間に一萬八千回、一年には一億五千七百六十八萬回の刻音を發するといふわけで、振動をなす圓形の輪は刻音面に對して約三種これが一ヶ年になると四七三〇粁の距離を歩むことになります、ですから一定の期間を經た後は是非油を注して運轉を圓滑ならしめる必要があります、まづ小型時計で六―九ヶ月目、男子用で遲くも十八ヶ月には手入れが必要です。

ゼンマイ は時刻を見る度に習慣的に捲くことは禁物、廿四時每がよろしい、そして十五回が限度なら十二回で止める事

時間を合 すには逆に針をまはしてはなりません、進み過ぎは一回轉して來て合すこと、サイレンなどに合すには例へば正午ならサイレンが止んだ時の秒針を正視し、それから六〇秒たつて再び正視の個所へ戻つた時長短針を零時一分にする……といふのが正しい合せ方です。

水に落し た時は、まづ蓋を開いて機械部に酒揮發油を浸しその上で、時計屋さんに依頼します、殊に汐干などで胸につけたまゝで海水に浸し三、四時間放置したら、その時計の壽命を半分に縮めてしまひます。

保存する 場合には、懷中、腕時計いづれも文字盤を上にし、高溫の場所を絶對に避けねばなりません、必要が無いのに機械をあけ指を觸れるなど嚴禁のこと

柱時計は 玉振りテンプ振りの種がありまして、殊に玉振りの方は絶對に柱に垂直にかけねばなりません、傾いてゐると止まり易く且刻音の平均を缺き時間が狂ひ勝ちです、柱から外すにはまづ振子を外してからしないと失敗します、振子時計の遲速は玉の下のネジの上下に依つて調節するのですが一度に急にせず、漸次すこしづゝ調節して行つた方がよろしい。

わが荒鷲の體力は世界一
佐竹博士が斷定

【熊本國通】果敢なる低空爆擊に或は長驅數千キロの大空襲に偉大なる戰功を收めつゝあるわが陸海軍荒鷲部隊の大活躍、それこそ獨り日本人のみが行ひ得る絶對境であると生理學の上から斷定する珍らしい研究が一日熊本醫科大學で開かれた大日本生理學會總會で報告された

報告者は東北帝大教授佐竹安太郎博士で同博士はヨーロッパ大戰當時各國の生理學者が自國の飛行士について行つた能力檢査の數字を綿密に調べ上げこれをわが國の學生（主として東北帝大生）の能力に當て嵌め研究の結果一般學生の體力ですら各國飛行士と大差ないよつて鍛へられた陸海軍の優秀さを示したので訓練に荒鷲の强さは特に世界一であると斷定した

同博士は飛行士にとり最も必要なのは呼吸を止める力で、これを東北帝大學生二百卅名について檢査したところ平均して六十六秒、これを英國の優秀飛行士七十秒に較べ大差ないばかりでなく休養のため歸國した英國飛行士の五十七秒を遙かに凌駕する、更に肺活量を比較したところ英國の飛行教官が四リツトルであるのにわが國學生は三・八リツトル、米國ベット・フォード大學生の三・二リツトルに較べ如何に飛行家として優れた體格を持つてゐるかゞ判る、更に同博士は息をつく力息を吐き出す力などを明細に何れも英國飛行士、同教官、同候補生等と較べ優れてゐる點を數學的に立證したがわが國飛行家の優れた體力を青年層の體力を通じて立證したものとして學界の注目を惹いた

健康相談
渡滿して脚氣になる

（問）私は渡滿して半年になりますが、渡滿してより一ヶ月ばかり經ちますと脚氣になり食物等注意して居ましたら一時は良くなつてゐましたが、又最近では足と顔が腫れて來ました如何にすれば良くなるでせう（矢野廣子）

（答）顔や手足の腫れる病氣はいろ〳〵ありますから文面丈で病名を定め其の藥や治療法を申上げることは出來ませんが、多分は脚氣が再發したのではないかと思ひます、脚氣に就ては特に此所で申上げたいことは、脚氣になると相當多量のヴイタミンBの補給が必要であります、勿論其の輕重の程度にも依りますが、大體脚氣藥の藥用量位を服用して居るのみでは例へ極く輕症の痕跡型でも仲々治癒し難いものであります、矢張り長期間ヴイタミンB含有食品を攝取することに依つて治癒するものであります、兎角藥にのみ頼つて大切な日常の食物を顧ない傾がありますが、之は大變な誤りであります、貴女は食物には注意して居られる樣ですが夏は胃腸が無力になりがちで醱酵性の消化不良症等が起きてきます、すると腸內菌が跋扈してヴイタミンBの破壞作用が强くなり、其の爲め例へ食物に注意して居ても脚氣が亢進して來ることがあります、又脚氣に胸部の疾患を併發して微熱が續いて居りますと、脚氣も亢進し胸部疾患も增するものであります、若い人で脚氣が永く續いて居る樣な人は一度充分なる健康診斷が必要であります（回答者市立保健所長 醫學博士 北原英夫）

火を噴く國境 ソ聯陣地を覗く
阪下健一

（五）むすび

記者は今回の滿洲里、黑河、三岔口、東寧、綏芬河、虎頭の滿ソ國境要部を踏破しソ聯の幾何級數的增加の軍備と挑戰的雰圍氣を最も印象的に痛感させられた、即ち支那事變前三十萬と言はれた極東赤軍は何時の間にか

現在 では步兵約二十五ケ師團、騎兵約五ケ師團、國境陣地守備隊ゲ・ペ・ウ國境部隊その他を合して總兵力約四十萬、飛行機約千八百臺、戰車約千七百臺、裝甲自動車約千五百臺の尨大兵力に上つてゐると傳へられる、然もこの上外蒙軍十ケ師團、と外蒙駐屯の數ケ師團を加へれば滿洲國包圍の外線作戰陣容は恐るべき攻擊力を持つことになる、更に本年に入つてから日本海方面の航空兵力を五倍に增强し、ソフガワニ、ニコライエフスク、ナガエウオ等の諸軍港の强化を策する意圖は何を物語るか過般の共產黨大會に發表せられた第三次五ケ年計畫中の所謂モロトフ案なるものは總べて極東開發をその重點とするものではないか、第一獨立極東司令官ウテルン大將は

極東ソ聯地方の開發を成功せしむるためには植民を一層迅速に行ふべきである

と强調し又一赤軍工兵士官は

沿海州地方は第三次五ケ年計畫において第一獨立軍と太平洋艦隊をして敵を粉碎せしむる可能性を與へるために準備を確保せねばならぬ、即ち同地方の生產基地建設を促進する新方式を採用すべきである

と絶叫したのはソ聯の動向の一端を裏書するものである、かゝるソ聯の積極的施設の

擴充 乃至は極東獨立作戰の企圖は支那事變によつて戰力消耗せりとする日本に向つて一層その攻勢政策を露骨にせるに外ならない、漁業條約暫定取極めにおける、又最近の國境事件における個々の態度を見れば自ら判然とするところである

かくの如き事態に際して今後第二、第三の張鼓峰事件の起る可能性を豫斷せざるを得ないのは果して失當であらうか慢性と見られる越境事件が時に大爆發の危險性が多分にあるのを熟慮すべきである、ソ聯は自己の見くびり的行爲が第一線將兵に及ぼす心理的影響を三思したことがあるか、從來の事件から判斷しソ聯こそ國境の火遊びを好むものとしか言へぬ、世界革命をその本質的核心とする共產主義ソヴイエト聯邦がその保有する尨大軍備を背景としてかゝる危險を冒す意圖のある以上わが等は又その對抗手段を考慮すべきだ、國民は條約による國權商益政治問題化にも勝つて國境の

事態 に常に注目すべきである、これが記者の國境四千キロ踏破觀察の結論である（終）

豆ニュース（四月九日）

◇三中井百貨店
▲人形講習會申込締切
▲お菓子まつり（十日迄）
▲ニツケギヤラリー
▲合、夏服特賣（九日迄）
◇寶山百貨店
▲寶山特撰ショール、パラソル陳列（一階）
▲寶山特撰履物陳列（一階）
▲旅行用カメラと附屬品陳列（一階）
▲新着洋服地陳列（二階）
▲春の婦人、子供洋裝品陳列（二階）
▲新着婦人、子供帽子賣出し（二階）
▲新柄春セル賣出し（三階）
▲新着帶メと半衿の會（二階）
◇平本洋行
▲新學期文具賣出し（五階）
◇丸山衣服本店
▲純綿ワイシヤツ賣出し
▲仕立衣裳專門店、吉野町に開店
◇丸福果實店
▲リンゴ大量入荷

新刊

幼年倶樂部（五月號）

◇最近幼年倶樂部は活字を大きく規整し、振假名にも制限を加へ、一見非常に明るく兒童讀物として殆んど本格的な相貌を呈してゐる、五月號がこの主旨を益々强調してゐる

◇繪の四頁大原色刷で「動物のいろ〳〵」を出したのは裏の「東京の珍らしいもの」と共に出來がよい

◇讀物では「きゝやうと駒王丸」千葉省三「オヤマの大シヤレ」香澄豐、連載中の「三日の丸の子」竹田敏彥「三本松のなかよし」宮脇紀雄「南極探險」池田宣政「へいたいを助けた少年」宇野浩二「ニルスのバウタン」千葉省三等、宮尾しげを氏の「東京鐵道博物館見物」もこの種のものでは優れた表現力をもつたものである

◇クチエページに「ニコ〳〵ブデタテ」があり、漫畫にはマメゾウ、ゲンキのゲンチヤン、コグマのコロスケも兒童達の喜ぶものが揃つてゐる

キング（五月號）

◇春、四月の上旬に街頭に姿を現はすキング五月號が明るい春のやうな色彩を多分に有つてゐるのは當然ではあるが、創作にも中間記事にも特輯ページにもそれぞれ面白いところが多い

◇「社員道、社長道」を說く根津嘉一郎氏、砲兵大佐金岡氏の「戰場で得た大教訓」「樂しみ乍ら利益の多い國策副業」高野松太郎「現代名士五分間傳記」「思はず頭の下る人々」特輯などは特色がよく見えて賴もしいが、これらの記事のコンビに注意を拂つてゐることもよく理解される

◇新作落語の傑作集が特輯されてゐるのは春行樂の伴侶とするためであらうか讀切小說傑作集は、今月は六篇長谷川伸氏の「旅鴉の勘平」など面白いものであらう、挾込附錄として「二宮尊德翁夜話」の外に「現代オール人氣花形所得稅番附」がある、時局はこれらの人々に或はこの番附以上の多額を提出させてゐるかも知れないが、一般の人々にも好參考になるものである

ラヂオ けふの番組
新京放送局 M・T・C・Y 九日（日曜日）

朝

七、〇〇（大連）ラヂオ體操、入港船のお知らせ
七、二〇 ニュース
七、五〇（大連）朝の音樂（レコード）
一、オルガン獨奏 遁走曲ト短調 バッハ作曲 アルバート・シユワイツア
二、ヴアイオリン獨奏 サラハンドとドウーブル バッハ作曲 フーベルマン
三、管絃樂 ハイトンの主題による變奏曲 トスカニーニ指揮による交響管絃樂團
八、二〇 氣象通報
九、三〇（東京）子供の時間 童謠
一、物言はぬ戰士
二、輝く軍艦旗
三、みんなの王女樣
四、らつきようと兵隊
五、金太郎おどり
六、天氣豫報
七、乾パンのおやつ
八、ねんねのお國
九、こんこん小雪
尾村まさ子 小坂勝也
一〇、〇〇（東京）週間を顧みて（錄音）
一〇、四〇（東京）日曜禮拜―赤坂靈南坂教會より中繼 伴奏 東京放送管絃樂團 指揮 久岡幸一郎 今泉みどり
說教 復活の宗教 牧師 小崎道雄
一一、一〇（大連）支那叢談（六） 新生活運動と三幹主義 池田孝
一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇〇（東京）ニュース
〇、〇一（奉天）浪花節 島田左近 桃中軒如雲
〇、三〇（長崎）傷病將士慰問の午後―佐世保海軍病院より中繼―
（一）詩吟 大麻博之
（二）俚謠 （イ）博多節・外 （ロ）ぶらぶら節 （ハ）長崎賓節 唄 秀 三味線 縫子 長崎市有志
（三）博多仁輪加 生田德兵衛一座
（四）浪花節 聞き違ひ 名工左甚五郎 筑波雲
（五）歌謠曲 （イ）軍港の乙女 （ロ）祖國の花嫁 （ハ）滿洲娘 （ニ）武運祈りて （ホ）愛國子守唄 （ヘ）北京覗き眺め
和歌一さくときの 加藤清正・外作

夜

四、〇〇（東京）ニュース、氣象通報、ニュース
六、〇〇（大阪）子供の時間 動物物語の大將 峰 大阪童話教育研究會
六、二五（哈爾濱）春二題 松花江畔及キタイスカヤ街頭より中繼
七、〇〇（東京）ニュース、告知事項、今晩の番組
七、三〇（大連）箏曲 新青柳 三絃 富森新都 箏 曲田とめ子 同 淸水フミ子 尺八 油谷宍山
七、五〇（東京）日曜特輯ニュース演藝
八、一五（東京）落語 三人旅 柳家小さん
八、三五（奉天）詩吟 筑後川 藤井芳洲
八、四五（奉天）歌謠曲 一、大陸第一步 二、チヤイナタンゴ 三、お好きなだけ 四、柳散る頃 五、一杯のコーヒーから 伴奏 BYアンサンブル 樽美すみ子
九、〇五（大阪）連續物語 キユリー夫人（下） エーヴ・キユリー作 杉捷夫譯 村瀨幸子
九、三九（東京）時報、ニュース、氣象通報、ニュース
一〇、三〇 告知事項、明日の番組
一〇、四〇（哈爾濱）今日のニュース 北滿の時間

学芸

(カット……中野政行畫)

―小說―
冬來りなば (2)
盬田聖作

半年以上の長い多備りの生活にあきくしてゐたのに、萠ゆる春の陽に人の心も身も踊る、幽香子はふと道端に立てかけてある立看板に目を止めた。〃女給さん募集〃宿屋の支拂ひ、これからの生活の目標も無い。女給といふ職業が何んなものであるか、その社會的地位の高低等考へる餘裕もなかつた。けばくしい店のデコレーション、西洋の音樂の浮々した調子が、彼女をオドくさせる。

この〃あけぼの〃といふカフエーの前を行つたり、戻つたり三度四度、とうく決心して飾りガラスのはまつたドアーを目をつぶりおして中に入つた。

朝のカフエーの中は、ガランとして、滿洲人が床を掃除して居る。見すぼらしい姿の幽香子を見て〃何か用あるか?〃と聞いた。〃御主人は居ますの?〃〃あゝマスター今來る〃マスターとさも得意さうに英語を使ふ、カフエーでは主人の事を、マスターと云ふのかと、初めて知つた。

そのまゝ彼は床に、机の上に重ねてある椅子を下し始めた。ほんやりそれを眺める彼女。其處へ、くはへ煙草の亂れたちゞれ髪姿の女給らしいのが出て來た。

〃あんた誰に逢ひに來たの?〃〃未だ皆んな來てるのよ〃〃いゝえ誰にも〃〃そいぢや何しに朝つぱらからやつて來たの?〃〃あの外に出てる看板を見てあの……〃〃外に出てる看板?え?あゝあれか、へーあんた女給になるつもりでやつて來たの?〃〃えゝ困るので昨日あの……〃〃そんなら一寸待つてなさい、マスターを呼ぶから、でもあんたがねー〃と、その女は煙草の煙りの影からジロく、上から下から見下しながら奥に引込んだ。幽香子は、Z市の活動寫眞で女給の姿はこんなものかと思ひ乍ら見たが、小說でも一、二度讀んだ。今さら我身があの姿にならうとは、一寸悲しく、寐しさに心がふるへる。でもいゝわ、自分さへしつかりしてれば、その中外の職に付く迄、と思ひ返して見た。

二、三十分もしたか、奥から思つたより年若い靑年と未だ言ひたいマスターなる人が出て來た。今顔を洗つて頭をなでゝ出て來たらしく、女學校時代の體操の先生のやうにきちんと、ズボンをはきうすい灰色の縞のあるスエーターを着て。壁の時計は十時を示す。

〃あなたですか、僕に用のあるつて〃

〃はい〃實に叮嚀にお辭儀をした。

〃何うして女給になんかあなたの樣な若い人がなりたいのですか、まあおかけなさい〃と、傍の椅子を指し、自分も靜かに腰かけた。そこで彼女は、Z市の生活、美子の手紙につひ前後の考へも無く誘はれて來た事、その住所に知らぬ人が住み、宿屋の拂ひに困る事等を話した、彼マスターなる人も初めはその無茶に驚き娘の無分別に腹が立つた然し出て來て了つたものは今さら仕方が無い。〃あなたの思ふやうに女給つて職は樂でなく、實につらいものです。あなたのやうに若く淸い心の娘さんが、何も好んでこんな職に、初めから飛込んではねー。氣の付いた時は、取り返しのつかぬ自分自身に、やけになり……。まあ兎に角、あなたの言ふ事が本當ならば私がその宿屋の金を、二、三日出して上げます。その間あなたは、眞面目な職を探して私も心あたりを當つて見ませう〃此處は一寸でも居るところでない、直に出て下さい、と、こわい顔をして言つた、彼女は仕方なく厚く禮を言ひ其處を出て、歩き續けた。

彼女の歩み去る後姿を見送り、彼は、故里の妹を思ひ、自分も靑雲の志を持ち渡滿した、今は、カフエーのマスターに甘んじる自分を想ひ、あの見も知らぬ、少女を無條件に助ける心になつた自分に對し何か新鮮さを感じ、心が輕くなつたやうに思つたさて自分だつて、この「あけぼの」のバアーテンダーだ、何が出來るのだ、金も無いのに。

バクゲキ欄
物語と人間
―幸田露伴「雪たゝき」(「日本評論」四月號)―

仲々ロマンチックな物語ではある。古い時代、堺の街でのこと、夫が遠くに働きに出てゐる豪家に、人間違ひして雪の夜に呼び入れられた男があつた、男は證據の笛を手に入れ、仇し男をつくつてゐるその人妻をなじるのだと頑張り、娘をかばふその實父は男の住居を訪ね時局論、宗教論を交し、それからその笛を取り返さうとしての舌戰に入る。

作者の筆は當時の社會狀態を說いて仲々活寫の腕の冴えを見せてゐる。また人々の會話を述べて仲々懇切である、女主人をかばふ女中のけんめいの懇願振りなどもあざやかなものである。こゝにはたとへばバルザック風の重厚な構成力があると言へよう。

ところで物語は出來た。しかしその物語の中に動く人間はどうかと言へば、これはその外貌なり行動なりが書かれてゐるだけで、その人間の奥にまで突き入つてこれを解剖してはゐないのである。こゝにこの作品の舊さがあるといふことを發見する。これは致命的なマイナスである!

(御垣衞士)

敗戰支那の記錄
上海の一年 (11)
邵洵美
大内隆雄譯

實を言へば、自分でも全く氣が付かずにゐたのだつた、その晩になつて私達はじめてそれらの物を金に代へることを思ひついたのであつた。質屋は何も私達にとつて處女地ではなかつた、私達はすでに相當の服飾品を質屋の高い金網の向ふに送り屆けてゐた。

當然私の生活のかうした面はこれまで誰も本當にはしなかつたであらう、實際にその經驗をしたものでなくては判らぬことである。人を驚かすやうなことであるが「私は仕事を始めた日から負債を負ひ始めてゐた」のである。これは當然一寸判り難いことである人々の心目には私は少くとも數年間は奢侈をしてゐたと見えたらう、私の父や弟たちにしてもさうした考へを持つてゐなかつたとは言へない。しかしぶちまければ、これは算術の公式より判り易いことだつた。私には伯父があり、私は長子だつた。その伯父は若くして死んだ、伯母は祖母や私の父母の同意を得、又親戚を證人として私を伯父の承繼者とした。斯うした事情は仲々複雜してゐた、こゝには述べない。要するに、私が十歳にもならぬ時に祖母は私が受くべき財産を伯母に渡してゐた。私は結婚して數ケ月してそれを自分で管理することになつた。現金はもうすつかり費つたといふことだつた、殘つたのは若干の土地と店への投資だつた。私はその時まだ二十歳だつた、若いが故に慾望と志望との區別が出來ず、自分の抱負が一大夢想であることを知らずにゐた、そしてその土地や店の株を幾ら取つても盡きぬ資源のやうに考へてゐた、そして一老人が親切に勸めたのでその土地を抵當に金をつくりそれで家を建てゝ貸し出した。當時豫算したことを考へるとおかしいくらゐである。それは家賃收入の一部で利子を拂ひ、一部で借りを拂つてゆく、さうすれば二三十年で家は完全に自分のものとなると考へたのだつた、家が二三十年經てばすつかり廢屋になる事を考へなかつたのである、又自分の日常生活の支出を考へなかつたのである、それに時代環境が變化することなども考へなかつた。私の父は色々と心を勞することが嫌ひであつた、それでこの大きな家庭といふものがすつかり私の肩に掛つて來た、その結果毎月末缺損だつた、缺損になると又借金をした、そしてそれに利子を拂つた、利子を拂ふ金が足りなければ又借金をした。私はそれに當時も一つの考へがあつた、私はこの家の財産は祖宗の遺産だと思つた、法律上は私の所有であつたが、良心的にはそれを一人で得べきではないと考へた、それでみんなが借金をすれば私が拂つた、買掛けも私が拂つた、みんなに金が要れば私は借金しに行つた、年末等になつて利息を請求されると私は相當の失費が直ぐ判つたが、その難關が濟んでしまふとまた以前と同じであつた。それからまだ多くの人が私には本當に錢があると思つてゐた。そして私をその困難の解決に當らせた、私は一層の負擔を背負つたのであつた。數年前の私の幻影はすつかり毀れてしまつた、私は仕事の計畫を立てたがその幻も直ぐ毀れて行つた、幻に毀滅が續いた。此三年間に僅かに若干の收拾をやつたのみであつた。數人の友人は私にさうした經驗を追想錄に書いたらと勸めた、最初は私は確かに愚かだつた、しかし自分で勉強して斯うした「黃金を泥土とする」事件は古來數千となく書かれてゐることを知つた

學藝消息

△『滿洲文學』創刊　遠藤美津男、綠川貢、米田、船津志賀、佐々木等の諸氏を同人として五月から東光書苑より隔月刊行

大同劇團の步んできた道 (4)
藤川研一

私達の住んでゐるのは滿洲國である。だが滿洲といふ國の、眞の姿を知らぬ者が、滿人自身にすら、少くないのに驚かされる。――假に國軍について聞いても單に兵隊さ、匪賊は?と聞いても泥棒だよと、觀念的に片附けて了ふ。

移民地は哈爾濱の郊外ですか?と眞面目に聞いた在滿日本人があるが、この人に劣らぬ滿人が多い。

私達が生命を賭して、敢行して來たこの宣撫慰問も、都會の人々には想像出來ないやうである。私は劇團の宣傳めいたことを、報告しようとするものではない。滿洲演劇運動の一つの方向と、今回の仕事によつて得た尊い體驗について述べてみたい。

×

「オイ李さん、新京から芝居が來るとよ」

「新京?芝居?何だいそりやあ?」

「新京つてのは滿洲國の首都さ、芝居つて芝居だよお前ー」

「ふーん??」

某日系軍官が、笑ひ乍ら農民のこの會話を語つてくれた芝居をすら知らない農民が、僻の地には多い。建國前、今日の如く政治的色彩を、持つ匪賊の跳梁せざる頃は、所謂靑天井芝居(演藝物といふべきか)が、この地方にも、縣城又は割に裕福な部落を興行してゐたといふ。現に各縣城には危險家屋として使用禁止の戲院が必ず殘骸を見せてゐる。

通化省人口八十萬といはれる。その中の何割が嘗てこの演藝に接したゞらうか?戲劇つてこんなものさと、物知り顔に說明する老村長の顔が誇りがましがつたことが、すべてを語つてゐるやうだつた。

瓜子兒を嚙つて、たゞその空氣にひたつて來た。それ以外の話は無い。日本の如く田舍の隅々に迄、日本精神が滲透してゐない、この人々に戲劇の眞の味を解釋しろと言ふことは亂暴な話である。都會の靑年すら直に之が說明をなし得るものは少いとか聞く。

縣城へ出向く途中の一夜の店(旅館)を改造した頭をぶつけさうな劇場には、部落の老若男女が、息も出來ないやうに密集してゐる。零下四十度下のこの劇場の窓は、開け放たれ、照明具であるランプが十個、ぼんやりと舞台を照らしてゐる。

幕が開くと、簡單なものだが人々には驚異的な舞台裝置が出來てゐる。出て來る人物のすべてが、自分の周圍に坐つてゐる誰彼と同じである。ハテ役者はと思つてゐると、舞台のその人達が自分達の日常使ふ言葉で話し動き始める。而も喜怒哀樂のすべてが、切實な自分達の生活その儘である。こゝで人々は迷つて了つた、泣いて、笑つて、怒つて嘗て覺えたことのない、强い印象の中にぼんやりして了つた。

「之が芝居か?」

人々は、初めて思ひ出したやうに、お互に囁き合ひ、次の幕を待つてゐる。

「俺達にも出來るぢやないか」

「芝居つて、俺達のもんだぞ」

と、人々は歸る途すがら眼を輝やかしてゐた。

×

地方民の宣撫、兵士の慰問共に豫想以上の好成果をあげ得た。兵士は自ら舞台に立ち戰友を慰め合ひ、舊軍閥時の兵に對すると同觀念の農民への、理解、握手のため、部落で兵自らが宣慰する、と今後の方針を語つたことも再三である。

春の衛生

胃病で一番多い 胃酸過多症

胸やけがしたり、酸い水が出たり さらに胃が痛み始めたら危険です

胃が悪いのは、十中の八九まで胃酸過多症だと言はれる位、胃病で一番多いのが此の病氣です。此の病氣は二十歳前後から四十歳前後の食べたい、飲みたい盛りの人に多く、原因は不規則な生活の人、咀嚼の不充分な人、神經質の人、

酒タバコ の呑み過ぎ、甘味性、刺戟性、脂肪性の飲食物の常用、或は暴飲暴食の祟りが主であつて、先づ第一に、胃の粘膜に炎症を起こし、同時に胃の酸の分泌腺が亢進して酸の分泌が過剩になるからです。そのために、

胸やけが したり、呑酸と云つて苦い水が込みあげます。そして、この胃酸過多が治り難いわけは、一度、胃の粘膜に炎症ができるとそれからは日々の食物に絶えず刺戟されるからで、もし永引くと此の炎症は益々悪化擴大し……

胃の働き は次第に弱くなり、消化作用は衰へ、食物は胃の中に永く停滯して腐敗醱酵し易く、胸やけ、呑酸の外に、胃が重くるしくなつたり、腹が張つたり、また食後とか空腹時に胃が痛み、體質によつては下痢とか便秘とかゞつゞきます。こうなると、

頗る危険 で全身的に衰弱し、後には胃潰瘍、胃癌となり生命を失ふ事すら珍らしくありません。

一時的の療法では駄目です！

所が多くの人は、此の胃酸過多症に對し、一時的に胸をスウーッとさせたり、胃の痛みを押さへたり、また便通とか、消化とか、藥效とかに捉はれてゐるやうですが、こうした一時的の療法では、いつまでも根本的に全治する事はありません。それよりも第一に、胃酸過多の病源である

胃の粘膜 の炎症とか糜爛を治療して健康粘膜とし、さらに胃の酸の分泌を正しくするのが先決問題であると言はれて來ました。ここに著眼して創製されたのが今評判の新胃腸藥トモサンです。

☆…トモサンの主劑は、活性の被覆吸着劑と言ひ、この活性といふのはトモサン獨特であつて

胃も腸も

胃酸過多は勿論のこと、さらに胃腸内の有毒素と腐敗物を吸收し、また特殊の殺菌作用で腸内の有害細菌を殺菌しますから、胃腸内部はあたかも洗滌されたやうに清掃されて、胃腸の働きが活潑となり、便には藥の力を借らずとも、胃腸自身の力で食物を消化し、榮養分を吸收するのがトモサンの新しい特長です。

胃の働きが活潑となる！ 一時的にあらず

☆☆

◇…評判の新胃腸藥として最近各方面で認識を高め、さかんに賞用されてゐる錠劑『トモサン』とは今までの消化劑、醱母劑、重曹劑、制酸劑、或は胃散などとは全然その本質が相違し、第一に、被覆作用と言ひ…胃の粘膜に炎症、或は糜爛面があればそれを丁度、創藥のやうに被覆して種々の刺戟を遮ぎり、これを健康粘膜に回復せしめ、同時に胃の分泌腺に作用して酸の分泌を正しくする作用。第二に、吸着作用と言ひ…胃酸過多に最も害の多い過剩酸と腐敗醱酵物を吸收して大便中に排出し、胃中を清掃する作用です。

◇…此の作用は今までの胃腸藥と違ひます。しかし胃の粘膜の炎症とか糜爛が治れば、自然、胃の痛みは減退し、胃の働きが活潑となり同時に酸の分泌が正しくなつて、消化作用が盛んとなり、食慾は增進し、また胃中の過剩酸とか腐敗醱酵物が體外へ清掃されゝば胸やけ、呑酸、胃の重くるしさ腹張りなども自然消滅します。すなはちトモサンは、一時的に胸やけ、呑酸、胃痛を押さへるのではなく、胃酸過多の起る病源に作用して、これを本格的に治療するのが新しい特長です。

永い間の胃酸過多症で惱み、どうしても良くならない方は、この最新の胃腸藥トモサンによつて、一日も早く本格的に治療なさるやう、心からお勸めします。

正確なる頭腦を建設せよ

無毒健康の喜びは眞の血液淨化から

頭と心 世の中

頭腦は人間が世の中に立つて活動する上に、第一に必要なものでこれ無くては大學者にも、大實業家にもなれない。處が、何んな明晰な頭腦の持主である人でも、一度梅毒に罹れば、その治療をせぬ限り、必ず頭腦を侵されねばならぬ。頭腦を侵されて仕舞へば、もう駄目です。幸ひにその治療が理想的であれば、再び明朗な頭となるとしても、若し反對に治らぬとすれば、馬鹿か氣狂ひになつて、此の世を去るより外に道が無いのです。

心な き心配

患者の中には、唯毒へ込んでゐる人あり。『俺は梅毒かしら』『俺は梅毒性の氣狂ひになりはしないだらうか』など、一人で心配し一人で苦しんでゐる人があります。それよりも、世間に信用のある、驅梅内服療法を試みる事です。先づ、次のベルツ療法など、最も家庭的、而も效果的療法であります。

必ず 續發症

驅梅毒に罹つてゐる人は、他にも梅毒性の諸病變があるものです。先づ動脈硬化症がある、便秘症がある、胃腸障害がある、強度の神經衰弱症がある。以上は梅毒患者に伴ふ續發症です。仕事をしても直ぐ疲勞して、仕事に面白味が無く、唯鬱々として如何にも健康色を失ひ、梅毒特有の無氣力を示してゐます。

平凡 な心理

斯う云ふのは、潜伏梅毒と云つて最も恐ろしいのです。潜伏梅毒のある人は、必ず若い頃の梅毒をその儘放任してゐたか、或は治療を中絶してゐたかする人です。所謂治療に不忠實な人です。獨り梅毒のみに依らず、凡て病は治療に忠實な人は、早く治り、不忠實な人は一生を病氣に終らねばなりません。平凡な心理は、誰にも分つてゐながら、さて實行はむづかしいのです。明暗何れの道に進むも、實に患者それ自身の心一つで運命は決定されます。

大き な禍ひ

梅毒の一匹でも體内に潜めば、それが大きな禍ひとなる。脫毛、皮膚發疹、咽喉障害、頭痛、眩暈等が續き、それから腦や内臟に入るのだから、治療に忠實な人は、此の間に梅毒檢査もすれば、治療法や内服療法もするのです。

ベルツ丸の主効

說明よりも實驗

ベルツ丸は、驅梅内服藥として十餘年來、同病者間に信用ある良藥です。本劑は、連服と共に、病毒を體外に排泄、殺菌する作用があり、從て血液や淋巴液は完全に淨化せられ、爲めに全身的に元氣を回復します。之れは血行と代謝機能が旺盛となり、食慾を增し、頭腦、内臟等凡てに强化される結果であります。而も本劑は、服用至便にして副作用かなく、何人にも内服出來、今日では、内地の外諸外國に輸出され、その眞價を歡迎されてゐます。別項の如く驅梅毒、遺傳梅毒を初め、胎毒、瘡毒、横ね、皮膚病、ニキビ、しつ毒、ひえ毒、リウマチス、痔瘻、動脈硬化症、便秘症等、總て梅毒性疾患に惱む人に是非本劑を實驗して、一日も早く眞の無毒健康の喜びを迎へるべきであります。

その後元氣を增し仕事も樂に

この事實

暗黒外蒙の全貌暴露！
獨立を叫ぶ脱出のビ大尉

ソ聯の魔手によつて瓦解の恨を呑んで非業な最期を遂げた外蒙古共和國首相ゲンドン、陸相デミット等の暗殺事件以來暗黒外蒙の肅淸工作と鬱然たる獨立の機運は第三國人の容易に察知するを許されなかつたが、昨年八月二十日外蒙獨立の一念に燃えたタムスク駐屯外蒙第二軍團第六師團宣傳班長ビンバージャップ大尉（二六）の滿洲國內脱出によつて漸くその全貌判明、八日軍人會館における內外記者團と會見の結果、外蒙古における黒幕ソ聯の魔手が白日下に暴露された【寫眞はビンバー大尉と軍人會館に於ける會見】

風無き外蒙の曠野 漆黑の暗を東へ
滿領ハンベンスム遁入記

俺は東に行くとビンバージャップ大尉は外蒙古獨立の同志ロブソンドルチ中尉の手を固く握りしめてゐた、外蒙古タムスクの街はこの偉大なる秘密とビンバージャップ大尉の悲壯な決意とを秘めるが如く夏の夜の深い

眠りに

落ちてゐた今ビンバージャップ大尉は外蒙古解放運動の闘將ダンバー第二軍團長の遺志をつぎ同志を糾合すべく暗黒の外蒙古を脱出して滿洲國へ出發しやうとしてゐるのだ、外蒙古解放の軍機と反革命分子として肅淸の魔手に斃れた同志の遺書がズックの袋に詰められた、タムスク兵舍には灯の光一つなく、たゞ當直士官の靴音のみが靜かにコツコツと聞えてゐた、當直將校ビンバージャップ大尉は一年有餘夢にみた外蒙脱出のチャンスが今實現しやうとしてゐるのだ「馬の用意が出來た、早く行け」と窓越しにロブソンドルチ中尉が合圖した同志と闘つて來るぞと熱情の焔に燃える兩青年將校はしつかと相擁して

感激の

別れを惜んだ、曠漠たる外蒙古の夜空にはたゞ星のみがきらめき風も無くビンバージャップ大尉の悲壯な脱出を靜かに見守つてゐた、タムスク兵舍の立哨の外蒙古兵の手に三ルーブルの紙幣が靜かに渡され何事か一言二言低い聲が闇の中に吸込まれて行つた、ビンバージャップ大尉は第一の關門兵舍の監視線を見事に突破したのだ、俺は東に行く、と用意された騾馬に一鞭あてたビンバージャップ大尉は草いきれのする砂漠の曠野を進路を北にとつてまつしぐらに滿蒙國境の彼方へと疾驅した、五里、十里、卅里と疾驅すれども盡きぬ曠野をつゝ走つて十八日午前國境線に足を踏み入れた「誰だ！」「脱走者だ！」と國境監視のゲ・ペ・ウはビンバー大尉目がけて亂射した、脱走者とゲ・ペ・ウとの馬上の格闘がしばし續けられ

砂上に

射斃された荒れ狂ふ騾馬の屍體が六つ、七つと數へられた、ビンバー大尉は愛馬の血しぶきを浴びて一人、二人、三人と、ゲ・ペ・ウを拳銃で射殺し血路を開いて滿蒙國境の監視線を突破したのだ、午前十一時ビンバー大尉は炎熱百餘度の滿洲國の曠野に辿りつき精根つきてドウと倒れてしまつた、俺は行かなければならない、幾度か待ちあぐんだ好機をつかんだのに、今倒れてはならないのだ、と倒れては起き、起きては倒れ滿洲國の蒙古人を探して炎熱の曠野をあてもなく彷徨した、水もなく食なく、たゞビンバー大尉の飢ゑを防ぐものは曠野に生繁る夏草のみだつた、二晝夜走り續けたビンバー大尉は廿日午後三時遙か彼方の地平線に包らしい白點を發見した「お！あれだ、俺の求めた希望の峠は…」と憔悴した身を

兩脚に

支へ、地平線へと足を運んだ、「俺は外蒙古からの脱走者だ！」と叫びつゞけたビンバー大尉の姿を發見した蒙古の少年三名が騾馬に一鞭あてゝタタ…と近寄つて來た、それから數刻歟い絨氈の上で疲れ切つた脱走の身を横たへたビンバー大尉は初めて興安北省西新巴旗のハンベンスム村公署に辿りついたことを意識した「有難う！俺は目的を達成したのだ！同志に會へたのだ」と脱出成功のよろこびと滿洲國蒙古人の手篤いもてなしにビンバー大尉は止めどもなく流れる涙を押へて感泣してゐた、かくて暗黒外蒙古の實情が八日日滿軍人會館に於けるビンバージャップ大尉と內外人記者團との會見に於て

白日の

下に曝されたのである

なほビンバージャップ大尉（二六）はタムスクに生れ、ウランバートル陸軍士官學校を卒業後成績優秀の故をもつてソ聯に留學し、レーニングラード陸軍士官學校騎兵科卒業後一九三五年ウランバートルに歸還し第二軍團附となり、脱走當時は師團宣傳班長をしてゐた

民族の獨立に進め
外蒙の攪亂者はソ聯だ

外蒙軍の制服、制帽を着用した瀟洒なビンバージャップ大尉は午後三時軍人會館に現はれ古木屬官の通譯で記者團のインタヴューに應じた、寫眞班、ニュース班のフラッシュ・ライトにも動ぜず烈々たる口調で外蒙の現狀を赤裸々に暴露した、以下は記者團との問答である

問　脱走の動機を語れ

答　外蒙獨立の保全を脅威し外蒙の平和を攪亂するソ聯はゲンドン首相、デミット陸相の暗殺以來我々少壯幹部に漸次壓迫の手を延ばしたので遂に脱走の決意を固めた

問　（もつと具體的に述べよ）

答　滿洲里の滿蒙會議より歸來した我々の先輩ダンバー第二軍團長（その後銃殺さる）は我々に向つて「蒙古は如何にしてもソ聯の手より脫却して獨立せねばならない、そのためには日本に頼る外はない」と告げ彼自身妻子を離縁して獨立運動の固い決心を示したので自分も妻子を離縁して機會を狙つてゐた、然しこのことが發覺してダンバーがウランバートルで銃殺されたがその直前我々に對し「俺が死んでも同志の中誰れかゞ必ず赤軍の機密を握つて滿洲國に行け、ソ聯を倒す資料ともなれば目的の一斑は果されるー」と語つたので愈々脱出の時期を待つた、その裡自分はタムスクの第六師團に轉任を命ぜられたがゲ・ペ・ウ監視員の目は自分の周圍に光つて來たが、當直將校となつた八月十八日の眞夜中遂に脱出を企て成功したのである

問　外蒙軍隊住民とソ聯の關係はどうか

答　外蒙古の住民軍隊の六割は反ソ意識が旺盛だ、彼等は濶歩するソ聯人や、ソ聯踊りの蒙古人に激しい反感を抱いてゐるが、無力なので手が出せぬ、だから夜間演習中にソ聯將校のピストルを盗んでへし折つたりガソリンに水を入れたり、大砲に砂を入れたりすることでもソ聯に對する彼等の感情が判るだらう

問　外蒙にソ聯人はどの程度ゐるか

答　はつきり語る自由は持たぬが一萬五千人以上は居るだらう

問　軍隊の赤化教育とラマの壓迫狀況を述べよ

答　軍內中央部に政治部があつて革命と青年同盟宣傳班政治指導班等の各組織があり軍團、師團に働きかけてゐる、又ラマ教の壓迫は外蒙古二七、八年（一九三七、八年）が最も酷く內防處（ゲ・ペ・ウ）長官のチヨイバルサンがソ聯と一體となつてラマを彈壓するので、我々は全く信仰の對象を失つた、首都のウランバートルには寺院はあるが有名無實である、近い將來には外蒙からラマ教が驅逐されやう

問　滿洲國や日本をどう思ふか

答　滿洲國と外蒙古は數百年來の交りを持つてゐた、然るにソ聯の手が蒙古に延びて來てからジンギスカンの名殘りは破壞され滿洲國との關係も斷絶した、外蒙の住民は全部昔を戀うてゐる頭の毛の赤い青い目の人間には用はない、我々と同じ黒い目の民族と仲間になることを望んでゐる

問　肅淸の狀況はどうか

答　さきに云つたゲンドン、デミット、ダンバーの外マルジー參謀總長ーサンボーダルジャップ（兩名とも滿洲里會議代表でモスクワ駐在外蒙大使）等將校官吏だけでも五百名以上がウランバートルで銃殺されその他サンベース始め各都市の監獄はこれ等犧牲者で一杯である

問　脱出後の心境如何

答　自分の心境は今安らかだ丁度暗黒から抜け出て春光を浴びる氣持である、脱出以來某所で日本及び滿洲國の研究を重ね充分な理解を得た、然し氣にかゝるのは外蒙古で犬猫のやうに扱はれてゐる我が民族だ、我々外蒙古人は今はつきりと日本及び滿洲國と手を握り大同團結せねば外蒙古の獨立は望み得ないことを感得した、自分は軍人である、民族の獨立のために妻子を捨てた、ソ聯打倒、何時かは武器を以て外蒙古獨立のため邁進することをこゝに誓ふと昂然眉を上げて口を結んだ

臨時敍勳（第六回）發表
光榮の四千九百廿二名

皇帝陛下には建國の聖業たる國防の强化、治安の確立に邁進した治安部關係將兵、職員の功業を思召され數次にわたり敍勳の恩命に浴せしめられたが、今次更に第二次臨時敍勳第六回發表を以て建國の當初より地方治安の確保に貢獻せし治安部將兵職員治安少校張嚴山以下四千九百廿二名の功業を嘉せられ、敍勳の御沙汰あらせられると同時に國軍の指導に盡瘁せる軍人教官水町竹三氏以下五十二名及び功業貫徹のために尊き犧牲となつた死歿者百四十名にも優渥なる敍勳の御沙汰あらせられた、また滿洲國の認識を各國に深めわが國際的地位の向上を圖ると共に彼我の親善に寄與した駐日イタリー國大使館附武官陸軍中佐グリエル・モスカリゼ氏の功業を嘉せられ敍勳の御沙汰あらせられた、同武官は昨年ファシスト使節團に隨行員として加はり滿洲國を訪問したるものである

敍勳四位、贈與景雲章　軍事教官 陸軍少將　水町竹三

敍勳二位、贈與景雲章　グリエル・モスカリゼ

アタタカイ土曜
今日もこの好調續く

木の芽のない國都ではあるがもう春だ、お釋迦さまの御誕生日花祭りの八日、水銀柱はぐんぐん上昇して本年度の最高即ち午後三時の氣溫廿度三を示した、折柄の土曜日にじつとり汗ばむサンサンたる陽光を浴びて今日こそ半歳に亘る憂欝な蟄居生活から完全に放されたかの如く、いと晴れやかな人々の群はどつと戸外に押し出した、大同大街に兒玉公園に人波は氾濫した、そして清澄な大氣を心ゆくまで吸つて『春だ』と獨語する人々の鋪道に運ぶ靴の輕かつたこと、あゝ明日は日曜である『今日のやうな天氣であつて…』とそれは全市民の念願でもあらう、例によつて觀象台のおぢさんにお伺ひを立てゝ見る

今日の氣溫は例年に比較して暖かいですな、この季節に滿洲で二十度を越すことは稀れです、原因は最近蒙古方面に高氣壓がありましたため、滿洲は北寄りの風が吹いて寒かつたですがそれが移動して蒙古方面が低氣壓となり滿洲は南寄りの風となつて暖かくなつたのです、明日の日曜の天候ですか、今日位で大丈夫お天氣です

觀光機關と旅館含む 觀光會館を設立
旅館難の對策に如何

興亞の春開く國都の艶姿を見んものと國都觀光客は四月に入ると共に物凄いラッシュ振りを示してゐるが、折角招いたものゝ困るのはホテル難、午後七時ともなると各ホテル旅館はいづれもすしづめ滿員で「折角ですが…」と斷るのに骨が折れる狀態で、七日の夜は大連某會社の專務取締役一行三名が新京驛構內待合所に宿るなど「新京へ行くにはテント携帯でなくては駄目だ」と笑へぬ話まで飛び出してゐる、各關係方面ではいづれもこの對策に頭痛鉢卷の體であるが、國都へ國都へとチャンチャン宣傳した新京觀光協會では來年、その次の年と觀光客は幾何級數的に增加するものとみて、觀光客を止宿さす觀光會館の設立を企圖、新京事情案內所等觀光機關全般を收容し綜合的に國都觀光に乘り出すやう關係當局と折衝することになつた

東亞都市懇談會第二日

【東京國通】東亞大都市懇談會第二日は八日午前十時半東京市會議事堂に開催まづ縣名古屋市長より東亞大都市相互協力に關する件について說明

一、都市行政文化資料の交換
一、市吏員の交換勤務
一、各都市行政技術の相互援助
一、都市物產の紹介斡旋
一、特許權、實用新案權の許容
一、視察見學團の交換

の諸事業を實施、相互の親善融和、福利增進に資したい旨を提案し天津、南京、北京各代表から贊成意見があつた後左の如き決議を行ひこれにて日程全部を終了し正午官邸における木戸內相主催の午餐會に出席した

△決議　われ等東亞大都市代表は本懇談會の光輝ある成果に應へこれを機として日滿支蒙各主要都市相互間の連絡協調のますます緊密なることを冀求し東亞大都市聯盟結成を具現するとゝもに新東亞建設の大業に協力し、もつて東亞永遠の平和招來のため邁進せんことを期す　右決議す

水道修繕夫が泥棒に早變り
奥様よ、御用心なさい

奥樣方御用心＝八日午前十一時卅分頃市內豐樂路三〇一近澤洋行內滿洲案礦會社々員橘頁氏（三九）方を訪れた白い作業服、身長五尺六、七寸の一滿人が「奥さん、水道の修繕にきました」と玄關內に入り水道管をいじり初めたので留守宅の妻女が安心して洗濯を始めた際に室內壁際に置いてあつた金側懷中時計一個（六十圓）女用腕時計（四十圓）を窃取逃走、届出に接した四道街署では犯人嚴探中であるが、同様手段で水道修繕夫を装つての泥棒被害が數件に亘つてゐるので、留守居の奥様方はゆめゆめ御油斷あるなと注意を促してゐる

國都野球を語る
昨夜座談會を開催
本社主催

春來るを告げる本社主催、西山運動具店後援の第六回全新京野球大會は全市民の視聽を集めて二十三、二十四日の兩日兒玉公園球場に於て盛大に擧行されるが、その前に本社では本年度國都球界の紹介の意味で八日夜ヤマトホテル會議室に

新京倶樂部赤松、高橋、加藤、電業島田、杉田、針原
電々稻田、宇多村、濱田、滿洲國栗原

等各チームのマネジャー、監督、主將、選手並に北村體聯新京事務局主事等を招き座談會を催し、本社伊藤事業部主事の開會の辭についで上田本社代表の挨拶あつて座談に入り球界話に花を咲かせ午後九時散會した、なほ本會の記錄は新京商業速記部生徒の速記に依り一兩日中より本紙に連載、待望あつきファンに贈る

居合術講習會

滿洲帝國武道會では滿鐵と共同主催で劍道居合術教士橋本統洋氏を國都に招聘、來る十日より十二日迄中銀倶樂部武道館で居合術の講習會を催すが一般同好の士の參加を希望してをる、講習時間は每日午後四時半から六時半まで、講習終つて同教士指導のもとに稽古が行はれる、講習日程は第一日（居合術の大義、初發刀、型刀の實演說明）第二日（右刀、東刀、陰陽進退の實演說明）第三日（流道、仁道實演說明）で、橋本教士は九日午後五時廿分新京着列車で來京、松屋新館に入る

實演の彼女の御挨拶か？

五月信子、河合武雄、早川雪洲一座で皆様に御目見得した彼女等姉妹「月路須磨子、瀧田榮子」は憧れの新京「カフエー大新京」に現はれて本日から親しく皆様へ御挨拶を申上げたい由何分始めての土地なれば宜しく可愛がつて頂きたいと申して居ります（廣告）

そよかぜ號天候不良で出發順延

【東京國通】そよかぜ號は八日朝イラン國への親善飛行の途につく豫定のところコース全般の天候不良のため重大任務を考慮、大事を執つて明九日午前七時に出發を延期した

樺甸縣匪團擊滅

七日午後十時頃樺甸縣第五區大蒲柴河辦事處を匪首不明の二、三百名の匪團が襲擊し來り同地警察隊は直ちにこれに應戰し奮戰五時間に及び遂にこれを擊退したが、この戰鬪において我方は日警五名、滿警二名戰死、負傷者四名を出した、なほ敵も相當損害ある模樣である、この報により敦化より日本軍ならびに敦化長田討伐隊が急行し八日午前四時頃大蒲柴河西方二キロ腰倘子に於て同匪團と遭遇し敵を擊滅掃蕩した

渡邊討伐隊戰果

渡邊討伐隊は去る三日午後二時頃寶淸縣座標高地附近に於て匪團の山寨を奇襲し全滅せしめ武器彈藥多數を鹵獲した

天氣
けふの天氣　南西の風晴れ
きのふ　氣溫　最高　二〇度三　最低　零下二度六

若殿膝栗毛

（禁上演上映）

中川雨之助

竹越一郎畫

（三百十四）

弱い影

その二階座敷で、蒲團の上に起き直つて、チット香島の唄に聞き惚れてゐる一人の女客があつた。

それは、お銀であつた。

彼女は、だん／＼街道を西へ來れば來るほど、『お銀さま、お使者さま』の評判が、高くなつて、反つて迷惑するやうなことが多く、ウンザリせずには居られなかつた。

そこで、宿屋なぞも、なるたけ間の宿の、小さい旅籠を捜して、コッソリ泊るやうにしてゐる。今夜もこの橋本の『谷屋』へ、ひそかに泊り込んでゐたのであつた。

そして、早寝の枕に着いたかと思ふと、突然三味線の音が聞えて來た。それは、さつきから大勢で、ワイ／＼騒いでゐた裏の家からであつた。

初めは、寢たまゝで聞いてゐたのが、しまひには、わざ／＼蒲團の上に起き直つてヂット聽き入るほど、彼女は心を惹かれたのであつた。

『マア、門付の藝人にしてはなんて好い咽喉だらう。そして、あんな唄を、こんな田舍で聞かうとは思はなかつた』

しまひにお銀は、立て窓の戸を細目に開けて見た。

が、座敷の障子には男の影法師が動くばかりであつた。

曾ては、門付をして旅を歩いたことのある身、お銀は人事とは思へなかつた。

◇

虎口を脱れた軍平は、廣壁を蹴破つて、小屋を飛び出すと、闇を幸ひ、盲めつ法に走つた。

バタ／＼／＼、後に足音が聞えた。ピタリと塀にくッ付いて振り回ると、それが、闇の中でも、ハッキリ知れた。

『香島が、追つて來たのだ。ウムさうだ、行きがけの駄賃だ握つて行かう……』

天の奥へ、搬から牡丹餅だと喜んだ。

とも知らず、香島は夢中であつた。

『軍平は、どちらへ逃げた』と、只だそれのみに氣を取られ、反つてその軍平の毒牙が自分に迫らうとして居ることに氣付かなかつた。

『アッ、痛ッ！』

それは、思はず放つた軍平の聲であつた。

塀際から一歩踏み出したはずみ右足にグサつと釘を踏みつけた。あわてゝ抜くと、三寸もある古釘であつた。

『チョッ』

舌打をして、その釘を叩きつけた。

その間に、香島の影は何處へ行つたか、見えなくなつてゐた。

『南無三！』

掌の中の珠を取られた氣で追つかけようとすると、パッと射す提灯の灯明。

『アッ、役人！』

いきなり蟇のやうに、地上へ踞がんだ。そして、危ふく役人の圍から脱れたのであつた。

それからの彼は岡崎の城下町を裏から裏へと駈けぬけた城下を離れて東へ、藤河までは一里半、筋違橋を渡つて大平の立場を過ぎ、男川の大へ差しかかつた。

それ迄忘れてゐた右の足の裏がヅキヅキ疼き始めた。さつきの踏抜きの處だつた。

それを堪へて藤河の入口まで來た時には、痛みがだんだん激しくなつて來た。